

法令全書

訓令

○内務省訓令第一號

明治十八年番外達巡查看守休暇概則第二條へ左ノ一項ヲ追加ス

明治二十八年一月九日

前項ノ外五箇年已上皆勤ノ者ニハ一週間以内十箇年已上皆勤ノ者ニハ二週間以内特ニ休暇ヲ與フルコトヲ得



警視廳 北海道廳府縣 東京府

○農商務省訓令第一號

明治二十五年七月農商務省訓令第二十二號度量衡檢定規程第三十一條第一項木製以下七字ヲ「木、革、麻布製ノ度量衡器」ノ十三字ニ改正ス

明治二十八年一月十四日

農商務大臣子爵榎本武揚

〔参照〕

農商務省訓令第二十二號度量衡檢定規程(明治二十五年七月七日)抄錄
第三十一條第一項
打込ミ印ハ金屬製ノ度量衡器又ハ木製ノ度量衡器ニ用ウヘシ

○大藏省訓令第一號

明治二十六年當省訓令第三十九號金庫出納事務規程同第五十三號作業及鐵道會計金庫出納事務規程同第五十四號官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程中左ノ通改正シ明治二十八年二月一日ヨリ施行ス

明治二十八年一月十五日

大藏大臣渡邊國武

明治二十八年一月 訓令 内務省第一號 農商務省第一號 大藏省第一號

C2
4
1

727-35

金庫出納事務規程

第七十四條中(會計検査院(提出)トアルヲ(明治二十七年會計検査院達第十九號ニ據リ調製)ト改ム)
 第七十五條第一項中其書式第三十號ノ如シノ十字ヲ削ル
 第七十六條第二項中其書式第三十一號ノ如シノ十一字ヲ削ル
 第七十八條中(會計検査院(提出)トアルヲ(明治二十七年會計検査院達第十九號ニ據リ調製)ト改ム)
 附屬第三十一號書式ヲ左ノ通改メ第三十號書式ヲ削ル

(各書式中「内及備考文並ニ印字ハ米)

〔第三十一號書式〕

中央金庫
 明治何年何月分出納計算書

備考
 受ノ部明治何年三月三十一日ヨリ越高トシテ記帳シテ
 ル員額ハ毎年度次月以降ノ例ヲ示セルモノニシテ當該
 ノ年度ノ初月ニ在テハ墨ノ横線ヲ畫セス其員額ヲ本分
 欄内ニ掲載スルモノトス

2.		1. 受之部			
部	合計	摘要	本月分	前月迄累計	合計
前月迄累計					
0	7,000,000	明治何年三月三十一日ヨリ越高		0	0
0	0	歳入			
		某年度歳入	8,200,000	0	8,200,000
		某年度歳入	1,800,000	0	1,800,000
0	0	歳出仕拂未済繰越金			
		某年度繰越	0	0	0
0	0	大藏省証券			
		某年度發行	500,000,000	0	500,000,000
0	0	雜部			
		保管金受入	20,000,000	0	20,000,000
0	8,000,000	振換金			
		受入	0	0	0
0	0	回金受入			
		受入	0	0	0
		合計	530,000,000	0	530,000,000
0	15,000,000				

4. 某年度 歳入				3. 拂	
要		收 入 額		備 考	
主任 收入 官氏名	事由	本月分	前月迄計	合 計	
		圓	銭	圓	銭
官氏名		10,000	00	0	10,000
	更正拂	1,800	00	0	1,800
官氏名	小計	8,200	00	0	8,200
	更正拂	0	00	0	0
官氏名	小計	0	00	0	0
	更正拂	0	00	0	0
官氏名	小計	0	00	0	0
	更正拂	0	00	0	0
	合計	8,200	00	0	8,200

備考
 第一 本署ハ歳入各課内簿ニ據リ
 第二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第二十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第三十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第四十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第五十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第六十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第七十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第八十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十一 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十二 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十三 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十四 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十五 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十六 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十七 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十八 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第九十九 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ
 第一百 本署ニシテ歳入額ヲ掲スルモ

之 部			拂 之		
本月分		前月迄累計	合 計		本月分
圓	銭	圓	圓	銭	圓
15,000	00	0	15,000	00	
0	00	0	0	00	
515,000	00		515,000	00	
530,000	00	0	530,000	00	
前業合計 回金拂出 拂出 翌月へ繰高 現在金 605,000,000 回送中 10,000,000 合計					
歳出 某年度歳出 7,000,000 某年度歳出 0 某年度歳出仕拂未済 翌年度へ繰越金 歳出仕拂未済翌年 度へ繰越ノ為拂出 0 歳出仕拂未済繰越金 某年度支出 0 大藏省證券 某年度償還 0 猫 部 保管金拂出 8,000,000 派 換 金 拂 出 0 追次合計 15,000,000					

明治二十八年一月 訓令 大藏省第一號

年度繰越金			6. 歳出仕					明治二十八年三月三十一日	
要 事 由	金額		摘要		主管 官氏名	任命 官氏名	ヨリ	ニ	
	元	角	金庫	年度					
	0	0	中央金庫	某年度	某	氏名	0	0	
	0	0	何地金庫	某年度	某	氏名	0	0	
合計	0	0				合計	0	0	

九

6. 拂未済繰越金									
繰越高	仕拂額						差引未拂額	備考	
	本月分		前月迄累計		合計				
元	角	元	角	元	角	元	角	元	角
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

備考
第一
第二

木書ハ歳出仕拂未済繰越金各帳内繰入ノトス
 濟仕拂額ニ仕拂未済繰越金各帳内繰入ノトス
 期滿免除ニ據リ歳入ノ為繰出スルモハ當該仕拂
 命令官氏名ノ下ニ期滿免除ニ據リ歳入ノ為繰出
 揭ケ其額ヲ仕拂額本月分ノ内ニ記載スルモ
 内ニ記載スルモハ當該仕拂

明治二十八年一月 訓令 大藏省第一號

八

明治二十八年一月 訓令 大蔵省第一號

雜部保管金										大	
受 入 高			拂 出 高			差 引		備 考		年 度	
本月分	前月迄計	合 計	本月分	前月迄計	合 計	残 高	高	低	年 度	發	
圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	年 度	本月分	
19,000.00	0	19,000.00	7,000.00	0	7,000.00	12,000.00	0	0	某 年 度	0	
1,000.00	0	1,000.00	1,000.00	0	1,000.00	0	0	合 計	0	0	
20,000.00	0	20,000.00	8,000.00	0	8,000.00	12,000.00	0	0			

備考
本書ハ中央金庫現金出納原簿ニ據リ大蔵省證券發行
限價還額或價還未済額ヲ掲載スルモノトス

8. 藏 省 證 券							7. 某年度歳出仕拂未済翌		
行 額		償 還 額			差 引 償 還		備 考		
前月迄計	合 計	本月分	前月迄計	合 計	未 済 額	金 庫	主 管 廳	仕 拂 命 令 官	
圓	圓	圓	圓	圓	圓				
0	0	0	0	0	0	中央金庫	某 廳	官 氏 名	
0	0	0	0	0	0	何處支金庫	某 廳	官 氏 名	
0	0	0	0	0	0				

備考
本書ハ金庫出納事務規程第二十二條ニ據リ毎年度ノ歳出仕
拂未済金ヲ翌年度ヘ繰越シタルトキ其金額ヲ主管廳及仕拂
命令官毎ニ掲載スルモノトス

明治二十八年一月 訓令 大蔵省第一號

10. 振換金受入			9.	
金庫	金額	備考	摘要	
			出金	入金
何地本金庫	0			
何地本金庫	0			
合計	0			
備考 本書ハ中央金庫現金出納原簿其他ノ關係帳簿ニ據リ振替金 受入額ヲ掲載スルモノトス			備考 本書ハ雜部金内簿簿ニ據リ各屬證明書受領額並ニ殘額ヲ掲 載スルモノトス	

11. 振換金拂出												12.
備考	金庫	前月仕拂未済高		乙號振換證書受領高		又高		仕拂高		仕拂未済高		備考
		圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭	
	何地本金庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	何地本金庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
備考 第一 本書ハ中央金庫現金出納原簿其他ノ關係帳簿 ニ據リ振替金受領額並ニ殘額ヲ掲 載スルモノトス 第二 前々月發行ニ係ル乙號振換證書ヲ受領セル場 合ニ於テモ前月日付ノ欄ニ併記シ備考ニ其金 額ヲ分載スヘシ												

<p style="text-align: center;">明治何年何月分金庫出納計算書面之通 相違無之候也</p> <p style="text-align: center;">明治何年何月何日 金庫出納役 日本銀行總裁氏名^印</p> <p style="text-align: center;">大藏大臣宛</p>	<p style="text-align: center;">13. 回 金 受</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">金 庫</th> <th colspan="2">受 入 高</th> </tr> <tr> <th>圓</th> <th>銭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>何 地 本 金 庫</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>何 地 本 金 庫</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">備考 本書ハ中央金庫現金出納原簿ニ據リ現金ヲ受入レタル 員額ヲ掲載スルモノトス</p>	金 庫	受 入 高		圓	銭	何 地 本 金 庫	0		何 地 本 金 庫	0		合 計	0	
金 庫	受 入 高														
	圓	銭													
何 地 本 金 庫	0														
何 地 本 金 庫	0														
合 計	0														

備考
各本金庫ニ於テ調製セシ本書ニハ明治何年何月何日
何地本金庫ト記帳捺印シ之ニ金庫出納役式ノ如ク署名
捺印スルモノトス

入	<p style="text-align: center;">回 金 拂 出</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">備 考</th> <th rowspan="3">金 庫</th> <th rowspan="3">前月日 り越高</th> <th rowspan="3">本月同 送 高</th> <th colspan="4">本月決算高</th> <th rowspan="3">同送中</th> </tr> <tr> <th colspan="2">前月日付ノ分</th> <th colspan="2">本月日付ノ分</th> <th rowspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>圓</th> <th>銭</th> <th>圓</th> <th>銭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>何地本金庫</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>何地本金庫</td> <td>0</td> <td>10,000.000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,000.000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>0</td> <td>10,000.000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10,000.000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">備考 第一 本書ハ中央金庫現金出納原簿其他ノ關係帳簿 ニ據リ掲載スルモノトス 第二 前々月發送ニ係ル領收證ニ對シ決算シタル場 合ニ於テモ領收證前月日付ノ欄ニ併記シタル場 ニ其金額ヲ分載スヘシ</p>	備 考	金 庫	前月日 り越高	本月同 送 高	本月決算高				同送中	前月日付ノ分		本月日付ノ分		合 計	圓	銭	圓	銭	何地本金庫	0	0	0	0	0	0	0	何地本金庫	0	10,000.000	0	0	0	0	10,000.000	合 計	0	10,000.000	0	0	0	0	10,000.000
備 考	金 庫					前月日 り越高	本月同 送 高	本月決算高				同送中																															
								前月日付ノ分			本月日付ノ分		合 計																														
		圓	銭	圓	銭																																						
何地本金庫	0	0	0	0	0	0	0																																				
何地本金庫	0	10,000.000	0	0	0	0	10,000.000																																				
合 計	0	10,000.000	0	0	0	0	10,000.000																																				

○大藏省訓令第二號

金庫出納役

明治二十六年當省訓令第五十三號及同二十七年當省訓令第二十一號ニ據リ取扱フ鎮守府造船材料資金、官設鐵道用品資金ノ出納ハ明治二十八年二月以降現金出納原簿ニ現金受拂簿ハ特ニ某年度鎮守府造船材料資金歳入「某年度鎮守府造船材料資金歳出仕拂元金」某年度官設鐵道用品資金歳入「某年度官設鐵道用品資金歳出仕拂元金」中央金庫ノ科目ヲ設ケテ整理シ諸帳簿計算報告及決算整理方等ハ總テ他ノ作業及鐵道歳入歳出ト各別ニ區分スヘシ
但客年四月以後既ニ作業歳入作業歳出仕拂元金トシテ整理濟ノ員額ハ明治二十八年二月ニ於テ本文科目ニ移記スルモノトス
明治二十八年一月十五日
大藏大臣渡邊國武

○大藏省訓令第三號

大藏大臣渡邊國武

明治二十六年當省訓令第三十二號預金保管物供託物金庫出納事務規程中左ノ通改正シ明治二十八年二月一日ヨリ施行ス
但第六號書式及第七號書式ノ二中毎月出納計算書整理額ノ一欄ヲ設クルハ明治二十八年四月一日ヨリ施行スル儀ト心得ヘシ
明治二十八年一月十五日
大藏大臣渡邊國武

第四十五條中受入ノ下及拂戻ノ下各合計ノ二字ヲ削ル
第四十七條 中央金庫ハ金庫出納事務規程ノ毎年度出納計算書及毎月出納内譯書ヘ預金、保管金供託金、預金利子仕拂元積立金及預金運用上ノ各受拂額及其内譯額ヲ掲記スヘシ
第四十八條中毎月出納内譯書及ノ八字ヲ削リ受拂額ノ下ニ及其内譯額(號書式)ノ十一字ヲ挿入ス
第四十九條中受拂額トアル下ニ及其内譯額(號書式)ノ十一字ヲ挿入ス
第五十條中金庫出納役トアルヲ中央金庫ト及出納計算書ノ下(號書式)トアルヲ(明治二十七年會計年度ニ改ム)

大藏大臣渡邊國武

第五十一條第一項中毎月出納内譯書トアルヲ毎月出納計算書ト改メ第三十條檢閱濟ノ證憑書類證

明書ヲ添付シ會計検査院へ提出ノ爲メノ三十字ヲ削ル

同第二項中毎月出納内譯書トアルヲ毎月出納計算書ト改メ直ニ會計検査院へ提出ノ爲メノ十三字ヲ削ル
第五十二條中毎月出納内譯書トアルヲ毎月出納計算書ト改メ第四十條檢閱濟ノ證憑書類證明書ヲ添付シノ十九字ヲ削ル
第五十三條及第五十四條ヲ削ル
附屬第六號書式ノ一中左ノ備考ヲ加フ

備考
第一中央金庫直接扱ノ郵便貯金、中央備荒儲蓄金、官立學校及圖書館資金若クハ各官廳ノ成規ニ從ヒタル積立金ノ如キ官廳ノ取扱ニ係ル預金ハ總テ尙ホ其種類毎ニ口座ヲ區分スヘシ
第二中央金庫所屬何地支金庫ノ口座ハ官立學校資金若クハ各官廳ノ成規ニ從ヒタル積立金ノ如キ官廳ノ取扱ニ係ル預金ニ限リ種類、廳名及主任官吏ノ官氏名毎ニ區分スヘシ
同第六號書式ノ二備考中左ノ一項ヲ加フ
中央金庫所屬支金庫ノ口座ハ保管物取扱規程第六條ニ據ル寄託金ニ限リ尙ホ各寄託官廳毎ニ區分スヘシ
同第七號書式ノ一及二ノ冒頭ニ預金運用購入諸公債證書(預金運用購入諸株券)トアルヲ何レモ預金運用購入何公債證書(預金運用購入何株券)ト改ム
同第十號書式ノ一中左ノ備考ヲ加フ

備考
第一本金庫直接扱ノ官立學校資金若クハ官廳ノ成規ニ從ヒタル積立金ノ如キ官廳ノ取扱ニ係ル預金ハ總テ尙ホ其種類毎ニ口座ヲ區分スヘシ
第二何地支金庫ノ口座ハ官立學校資金若クハ各官廳ノ成規ニ從ヒタル積立金ノ如キ官廳ノ取扱ニ係ル預金ニ限リ種類、廳名及主任官吏ノ官氏名毎ニ區分スヘシ
同第十號書式ノ二備考中左ノ一項ヲ加フ

同第十號書式ノ二備考中左ノ一項ヲ加フ

同第十號書式ノ二備考中左ノ一項ヲ加フ

支金庫ノ口座ハ保管物取扱規程第六條ニ據ル寄託金ニ限リ尙ホ各寄託官廳毎ニ區分スヘシ
同第六號書式ノ一同號書式ノ二同號書式ノ三及第七號書式ノ二中並第九號書式ノ一第十二號書式
ノ一第十三號書式第十四號書式ヲ左ノ通改ム
(各書式中「内及備考文並ニ印章ハ朱)

何地本金庫									
第六號書式一ノ三頁		第六號書式二ノ三頁		第六號書式一ノ三頁		第六號書式二ノ三頁		第六號書式一ノ三頁	
年月日	摘要	毎月出納計界年	受入高	毎月出納計界年	元加濟高	毎月出納計界年	繰戻高	毎月出納計界年	差引残高
	受入 何年何月何日 何種何限		0		0				0
	繰戻 何年何月何日 何種何限								
	受入 整理區	何年何月							
	繰戻								

備考
本口座ハ預金保管物供託物金庫出納事務規程第二十二條
ニ據リ受納額ヲ記入シ置キ道テ毎月出納計算書ヲ受ケタ
ルトキ之ヲ整理スヘシ

何地本金庫									
第六號書式二ノ四頁		第六號書式三ノ三頁		第六號書式二ノ四頁		第六號書式三ノ三頁		第六號書式二ノ四頁	
年月日	摘要	毎月出納計界年	受入高	毎月出納計界年	元加濟高	毎月出納計界年	繰戻高	毎月出納計界年	差引残高
	受入 何年何月何日 何種何限		0		0				0
	繰戻 何年何月何日 何種何限								
	受入 整理區	何年何月							
	繰戻								

備考
本口座ハ預金保管物供託物金庫出納事務規程第二十
三條ニ據リ受入高及元加濟高ヲ記入シ置キ道テ毎月
出納計算書ヲ受ケタルトキ之ヲ整理スヘシ

[第十三號書式ノ一]

預 金

入 高		拂 出 高				差引現		備 考
合 計		本月分	前月迄計		合 計		在 高	
前月迄計	合 計	前月迄計	合 計	前月迄計	合 計			
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘			
0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0	0		

第何款

類別

預 金
官立學校資金
官立ノ或規ニ從ヒテ
ノ預立金
財等教會ノ財及人民
ノ共済ニ保ル預立金

備 考
項ヲ各自預金購入保管公債證券利子
ニ加ニシタル分ハ其金額別

[第十二號書式ノ乙]

明治何年何月何日預金部受拂集計表

類 別	主任 官 吏	専 由	受 入 高		拂 出 高		第何號	明治何年何月何日
			金 額	更正拂	金 額	更正納		
			圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘		
某 課	官氏名		0	0	0	0		
某 課	官氏名		0	0	0	0		
		小計	0	0	0	0		
某 課	官氏名		0	0	0	0		
		小計	0	0	0	0		
		合計	0	0	0	0		
		明治何年何月何日	何 庫	何 庫	何 庫	何 庫		
		何 地	金	庫	印			

第何號	明治何年何月何日	受 金 額
預保供		1,550,000
管託		550,000
合 計		2,100,000

明治何年何月何日

備 考
金貨ノ受拂アリタルトキハ摘要餘白ヘ其員額ヲ掲クルモノトス

明治二十八年一月 訓令 大藏省第三號

第十三號													
預 金 部 保 管 託 金													
何年三月 三十一日 より越高	受 入 高						拂 出 高						差引現 在 高
	本月分		前月迄計		合 計		本月分		前月迄計		合 計		
	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢	
0		0		0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0		0		0	
0		0		0		0		0		0		0	

二九

書式ノ二

預 金 部												
備 考	摘 要							何年三月 三十一日 より越高		受		
	金庫	預 金 類 別	關 他 名 稱	其 他 名 稱	主 任 官 氏 名	支 任 官 氏 名	事 由	何年三月 三十一日 より越高		本月分		
								圓	錢	圓	錢	
中央(本 支)金庫	郵便貯金	某某	某某	官 氏 名			0		0			
"	中央備荒儲蓄金	某某	某某	官 氏 名			0		0			
"	官立學校及圖書館買金	某某	某某	官 氏 名			0		0			
"	官立ノ成爲ニ從ヒテ及ニ設立 金	某某	某某	官 氏 名			0		0			
"	社會教育ニ對シテ人民ノ共有 ニ爲ルニ立金	某某	某某	官 氏 名			0		0			
	合計						0		0			

明治二十八年一月 訓令 大藏省第三號

二八

受 之 部						
摘 要	本 月 分		前 月 迄 累 計		合 計	
	枚 数	券 面 額	枚 数	券 面 額	枚 数	券 面 額
何年三月三十一日ヨリ越ス 保託諸公債証券	32	17,500,000	0	0	32	17,500,000
保託諸株券	0	0	0	0	0	0
保託諸証券	0	0	0	0	0	0
別金運用購入諸公債証券	0	0	0	0	0	0
何公債証券	0	0	0	0	0	0
何公債証券	0	0	0	0	0	0
預金運用購入諸株券	0	0	0	0	0	0
何株券	0	0	0	0	0	0
各別金運用購入諸公債証券	0	0	0	0	0	0
合 計	32	17,500,000	0	0	32	17,500,000

第十四號式

何年何月分

有價証券毎月出納計算書

第一 備考
第二

毎年三月分拂之部「翌月へ繰高」及四月分受之部「何年三月
三十一日ヨリ越ス」ノ員額ニハ各種類ヲ區分シ尙其小計ヲ
記スヘシ
受ノ部ハ明治何年何月何日以降ノ例ヲ示セルモノニシテ
額ハ毎年度末ノシテ當該年度ノ初
スルニ在テハ翌ノ横線ヲ畫セシメ其員額ヲ本月份ノ欄内ニ掲

中央金庫

又ハ

何地本金庫

摘 要			
金 庫	類 別	名 称	事 由
中央(本支)金庫	現金証券	其職	預金運用
"	"	"	"
"	"	"	"
"	"	"	"
			合 計

拂 之 部

摘 要	本 月 分		前 月 迄 累 計		合 計	
	枚數	券 面 額	枚數	券 面 額	枚數	券 面 額
借 入 公 債 證 書	2	600,000	0	0	2	600,000
借 入 株 券	0	0	0	0	0	0
借 入 證 券	0	0	0	0	0	0
預 金 運 用 購 入 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
何 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
何 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
預 金 運 用 購 入 株 券	0	0	0	0	0	0
何 株 券	0	0	0	0	0	0
各 自 預 金 購 入 公 債 證 書	0	0	0	0	0	0
小 計	2	600,000	0	0	2	600,000
翌 月 へ 越 高	80	16,900,000			80	16,900,000
合 計	82	17,500,000	0	0	82	17,500,000

○文部省訓令第一號

明治二十七年文部省訓令第二號ニ依リ放校ノ處分ヲ爲シタルトキハ其生徒ノ族籍氏名ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

前項ノ處分ヲ受ケタル者ハ學校ノ風紀ヲ紊シ教員タルノ要素ヲ缺クコト明カナルヲ以テ教員タルコトヲ許サ、ルヘシ但處分後三箇年ヲ經過シ悔悟ノ實顯著ナル場合ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經タ

明治二十八年一月 訓令 文部省第一號

三三

明治何年何月何日

何地本金庫(印)

明治何年何月分有價証券出納計算書面之
通相違無之候也

金庫出納役
日本銀行總裁氏名(印)

大藏大臣宛
明治何年何月何日

是ヨリ以下ハ中央金庫ニ於テ直チニ取扱タルモノ及本
金庫ヨリ送付セルモノニ對シ中央金庫ニ於ケル署名式

本金庫ニ於テ調製セシトキ當
該本金庫ニ於ケル署名式

北海道廳 府 縣
文部省直轄諸學校

ルトキハ此限ニ在ラス

此訓令發布前ニ於テ放校ニ處セラレタル生徒ニ對シテハ本令ヲ適用スルノ限ニ在ラス

明治二十八年一月十八日

文部大臣侯爵西園寺公望

〔參照〕

文部省訓令第二號(明治二十七年一月十二日)抄録

三 官立及公立學校生徒ニシテ黨ヲ結ビ教員又ハ校長ニ對シテ抵抗又ハ強迫ノ舉動ヲ爲シ或ハ課業ヲ妨害シ又ハ合同開課シ
教員又ハ校長ノ戒諭ニ順ハサル者アルトキハ各學校ハ其ノ情重キ者ヲ一週間以上一學年間以内ノ停學又ハ放校ニ處ス
放校ニ處セラレタル者ハ文部大臣ニ由リ情狀ヲ酌量シテ特免ヲ予フルノ外復校ヲ許サス

○大藏省訓令第四號

收稅署地租事務取扱規程左ノ通相定ム

但明治二十二年大藏省訓令第十五號ハ之ヲ廢止ス

明治二十八年一月二十六日

大藏大臣渡邊國武

府縣 沖繩縣
ヲ除ク

收稅署地租事務取扱規程

- 第一條 收稅署ノ地租ニ關スル事務ハ此規程ニ依リ之ヲ處理スヘシ
- 第二條 收稅署長ニ於テ土地又ハ所有者住所氏名ノ異動ニ關スル願屆書ヲ受ケタルトキハ地租事務整理簿(第一號)ニ之ヲ記入シテ主任者ニ交付シ主任者ハ土地臺帳ノ照合其他必要ノ調査ヲ了スル毎ニ順次同簿ニ該月日ヲ記入シ置キ其事蹟ヲ明瞭ナラシムヘシ
- 第三條 實地檢査ヲ要スル願屆書ハ檢査以前ニ於テ野取圖ノ檢算及該異動地比準地ノ等級段價等帳簿地圖ト對照調査ヲ遂ケ定期ト臨時トニ區分シ事務ノ緩急ヲ量リ之ヲ檢査ニ付スヘシ其檢査ヲ要セサルモノハ相當ノ調査ヲ遂ケ速ニ處分ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス
- 第四條 實地檢査ヲ了シ檢査員ヨリ復命シタルトキハ更ニ其當否ヲ調査シ速ニ處分ノ手續ヲ爲ス

ヘシ

第五條 前二條ノ處分ヲ了シタルトキハ式ニ從ヒ其時々土地臺帳及地圖ヲ訂正シ該願屆書及土地臺帳異動整理簿(第二號)ニ其要領ヲ記入シ速ニ登記所及市町村役場ヘ之ヲ通報スヘシ

第六條 收稅署長ニ於テ土地所有權ノ移轉又ハ質入等ニ關スル登記所ノ通知ヲ受ケタルトキハ登記所通知整理簿(第三號)ニ之ヲ記入シテ主任者ニ交付シ主任者ハ土地臺帳ノ訂正ヲ了シタル後該通知書ヲ添ヘ之ヲ市町村役場ニ通報シ其月日ヲ同簿ニ記入シ置クヘシ

第七條 共有地ニ關スル異動ハ前二條ノ訂正ヲ爲ストキ共有地臺帳ヲ訂正シ共有者ノ住所氏名及所有權ノ歩合等ヲ明カナラシムヘシ

第八條 收稅署長ニ於テ土地臺帳帳本下付願書ヲ受ケタルトキハ土地臺帳帳本下付整理簿(第四號)ニ之ヲ記入シテ主任者ニ交付シ主任者ハ土地臺帳ト照査ノ後帳本下付ノ手續ヲ爲シ其月日等ヲ同簿ニ記入シ置クヘシ

第九條 第五條ノ手續ヲ了シタルトキハ異動ノ種目ヲ區分シ之ヲ土地臺帳集計簿又ハ當該調理簿ニ記入シ置キ毎年一月中ニ於テ前年中ノ異動ニ係ル土地臺帳每筆ノ員額ヲ計算シテ集計簿ト照合シ其十二月末日ノ現在額ヲ查覈スヘシ荒地其他ノ臺帳モ亦之ニ準ス

第十條 前條現在額ハ毎年ノ初メニ於テ各町村役場ノ土地臺帳集計額ト照合シ其正確ヲ期スヘシ

第十一條 收稅署長ハ隨時各整理簿ヲ檢閲シ事務ノ滯滞ナカラシムヘシ

第十二條 地租改正ノ際調製シタル帳簿地圖其他土地ノ異動ニ關スル願屆書類ハ總テ之ヲ整理保存スヘシ

第十三條 收稅署長ハ地租事務年報(第五號)ヲ調製シ每翌年三月マテニ之ヲ府縣廳ニ送付スヘシ

第一號樣式

地租事務整理簿

收受番號	市町	數	署長	土地	檢	算	地	指	令	地	地	計	簿	署	長	檢
年月日	名	筆	印	番	査	査	査	査	訂	圖	訂	集	入	月	日	日

凡例

- 一 本簿ハ地租ニ關スル收受簿ヲ兼用スヘシ
- 二 異動種目及口實地檢査ヲ要スルモノト否トヲ類別シ便宜口座ヲ設ケ記入スヘシ
- 三 主任者ハ各表目中其一事項整理済ノ都度當該欄内ヘ記入捺印スヘシ署長ニ於テ之ヲ檢閲シタルトキ亦同シ
- 四 整理上必要ナキ欄内ヘハ斜線ヲ施スヘシ

第二號樣式

土地臺帳異動整理簿

異動種目	市町村名	土地番號	地目	段別	所有者	所有者	所有者	登記所へ	主任者	署長	市町村
					氏名	名	名	番號	印	印	役職

- 一 本簿ハ發遣番號帳ヲ兼用スヘシ

凡例

- 二 收稅署ノ所管内登記所區域ノ數所ニ涉ルモノハ其區域限リ口座ヲ設ケ記入スヘシ
- 三 主任者ハ各欄内ヘ其事項ヲ記入シ順次取扱月日ヲ記入捺印シタル後署長ノ認印ヲ得テ發送シ同職ノ手續ヲ省略スヘシ第三號第四號樣式亦同シ

第三號樣式

登記所通知整理簿

登記通知	收受番號	數	署長	收	土地	登記	訂	主任者	署長	認	市町村
番號	月日	月日	印	正	番	月日	月日	印	月日	番號	月日

凡例

- 一 本簿ハ收受簿ト發遣簿トヲ兼用スヘシ
- 二 收稅署所管内登記所ノ區域數所ニ涉ルモノハ其區域限リ口座ヲ設ケ記入スヘシ
- 三 事故欄内ニハ登記事項ノ誤謬其他調理遲延等ノ事由ヲ記入スヘシ

第四號樣式

土地臺帳謄本下付整理簿

收受番號	出願者	署長	收	印	紙	貼	土地	臺帳	主任者	署長	下	付	事	故
月日	住所	姓名	印	用	金	高	照	査	濟	印	月日	印	月日	日

○農商務省訓令第二號

明治十六年十一月廿二日 當省達第十七號ニ依リ開設スヘキ勸業會ノ儀本年ハ休止ス
北海道廳 府縣
農商務大臣子爵榎本武揚

○大藏省訓令第五號

明治二十六年大藏省訓令第五十四號官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程第三條中「仕拂命令官ノ請求ニ依リ」ノ十一字ヲ削除シ「ノ順序ヲ爲スヘシ」ノ八字ヲシ其旨仕拂命令官ニ報告スヘシ」ノ十四字ニ改ム
金庫出納役
大藏大臣渡邊國武

〔參照〕

大藏省訓令第五十四號官立學校及圖書館會計金庫出納事務規程(明治二十六年十二月十二日)抄錄
第三條 金庫ハ毎年度ノ案内仕拂請求書、集合仕拂請求書、若クハ金庫所在 地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏附アル仕拂請求書、
集合仕拂請求書ニシテ翌年度四月三十日迄ニ現金仕拂ノ請求ナキモノ若クハ送金スルヲ得サルモノハ仕拂命令官ノ請求ニ依リ翌年度へ繰越ノ順序ヲ爲スヘシ

○大藏省訓令第六號

明治二十八年度當省所管歲入科目左表ノ通之ヲ定ム

但本科目表中ニ適合セサル收入アルトキハ科目設置方伺出ヘシ

明治二十八年三月六日

明治二十八年度大藏省所管歲入科目表

歲入經常部

大藏大臣渡邊國武

警視廳 北海道廳 府 縣
稅關 廣島鎮山 造幣局
印刷局 官房第四課

款	項	目	所得稅	
租	地租	田租	釀造酒稅	
		畑租	蒸溜酒稅	
		郡村宅地租	再製酒稅	
		市街宅地租	酒造免許稅	
		雜地租	自家用料酒糴札料	
		北海道地租	酒精營業稅	
	所得稅	延納年賦	酒精營業稅	酒精營業稅
			酒造營業稅	酒造營業稅

煙草稅	印紙稅	營業稅	證券印紙稅	小切手押印稅	手形用紙稅	營業稅	造石稅	菓子稅	沖繩縣酒類出港稅	取引所稅	國立銀行稅
煙草稅	印紙稅	營業稅	證券印紙稅	小切手押印稅	手形用紙稅	營業稅	造石稅	菓子稅	沖繩縣酒類出港稅	取引所稅	國立銀行稅
賣藥稅	船稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅
國立銀行稅	印紙稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅
國立銀行稅	印紙稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅	營業稅

北海道水產稅	牛馬買賣免許稅	海關稅	免許及手數料	免許及手數料	外國人營業地使用免許料	訴訟用印紙料	登記印紙料	海員履入履止證書公認手數料	居留地貸下地券手數料	外國人內地旅行免許料	外國人相對貸借留手數料	臨時開庫手數料
北海道水產稅	牛馬買賣免許稅	海關稅	免許及手數料	免許及手數料	外國人營業地使用免許料	訴訟用印紙料	登記印紙料	海員履入履止證書公認手數料	居留地貸下地券手數料	外國人內地旅行免許料	外國人相對貸借留手數料	臨時開庫手數料
官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入
官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入
官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入	官報收入

罰金及沒收金	印刷局益金	造幣局益金	度重衡原器拂下代	度重衡原器拂下代	水而使用料	建物食下料	地所食下料	官有物食下料	囚徒工錢及製作收入	囚徒工錢及製作收入	藥用阿片拂下代	年賦及延納金
罰金及料	印刷局益金	造幣局益金	度重衡原器拂下代	度重衡原器拂下代	水面使用料	建物食下料	地所食下料	官有物食下料	囚徒工錢及製作收入	囚徒工錢及製作收入	藥用阿片拂下代	年賦及延納金
沒收金	官地私用辨償金	誤伐擅伐木辨償金	學費辨償金	盜雜品賠償金	出納官吏辨償金	別房留置人衣食費辨償金	控訴人費用償却金	公債證書製造費辨償金	地方稅滯納處分費辨償金	國稅滯納處分費辨償金	出張入費辨償金	沒收金
沒收金	官地私用辨償金	誤伐擅伐木辨償金	學費辨償金	盜雜品賠償金	出納官吏辨償金	別房留置人衣食費辨償金	控訴人費用償却金	公債證書製造費辨償金	地方稅滯納處分費辨償金	國稅滯納處分費辨償金	出張入費辨償金	沒收金

雜種稅	營業稅	戶數割	地租割	銀行紙幣製造料	被服還納代金	贈本料	學校生徒授業料	過砂糖寶却代	金輸山烟草戻稅還納	返納金	雜種入	雜種入	裁判所出頭費辨償金
諸磁札並書換料	營業稅	戶數割	地租割	銀行紙幣製造料	被服還納代金	贈本料	學校生徒授業料	過砂糖寶却代	金輸山烟草戻稅還納	返納金	雜種入	雜種入	裁判所出頭費辨償金
學校生徒授業料	藥價收入	償却金	違約金	地所家屋及物品拂下代	地所家屋及物品拂下料	囚徒工錢及製作收入	沖繩縣地方收入	學校生徒授業料	學校生徒授業料	官更遺族扶助法納金	官更遺族扶助法納金	官更遺族扶助法納金	健康證手数料
學校生徒授業料	藥價收入	償却金	違約金	地所家屋及物品拂下代	地所家屋及物品拂下料	囚徒工錢及製作收入	沖繩縣地方收入	學校生徒授業料	學校生徒授業料	官更遺族扶助法納金	官更遺族扶助法納金	官更遺族扶助法納金	健康證手数料

歲入臨時部		預金利息繰入	
款	項	目	目
官有物拂下代		雜收入	預金利息繰入
嶺山拂下代		返納金	預金利息繰入
地所拂下代		中央備荒儲蓄金繰入	預金利息繰入
建物拂下代		中央備荒儲蓄金繰入	中央備荒儲蓄金繰入
物品拂下代		製糖費補足金	御下付金
家畜拂下代		御下付金	御下付金
		納付金	納付金
		納付金	納付金

○陸軍省訓令甲第一號

國民兵召集事務準則左ノ通定ム

明治二十八年三月七日

國民兵召集事務準則

陸軍大臣伯耆西郷從道

師團司令部 近衛師團司令部 沖繩縣 府縣 沖繩縣

- 第一項 大隊區司令部、警備隊區司令部、島廳、郡市役所 在東京、京都、大阪、三市ニ町村役場ニ國民兵召集名簿ヲ備置カシムヘシ
- 第二項 國民兵召集名簿ハ召集規則第一條ニ掲クル種類ニ分チ年齡ノ若キ者ヨリ順序ニ編製スルモノトス但第一種召集名簿ハ將校、同相當官、准士官及元下士、兵卒職工並ニ各兵科各部ニ區分ス
- 第三項 師團司令部ニ於テハ召集規則第一條ニ掲クル種類及各大隊區ニ分チタル國民兵召集人員表ヲ備置キ大隊區司令部、警備隊區司令部ニハ郡市及島廳ヲ置キタル島嶼ニ分チタル國民兵召集人員表ヲ島廳、郡役所ニハ町村ニ分チタル國民兵召集人員表ヲ備置カシムヘシ
- 第四項 前二項ノ名簿及人員表ハ毎年四月一日ノ現在員ヲ豫定シ三月一日迄ニ整頓スルモノトス
- 第五項 國民兵召集名簿及人員表整頓シタルトキハ人員表一通ヲ添ヘ師團司令部ヨリ陸軍省ニ報告スヘシ
- 第六項 召集規則第一條第二種第三種ノ年齡計算ハ召集年ノ十二月ヲ以テス
- 第七項 六週間現役滿期ノ者ハ召集規則第一條第四種ニ屬スルモノトシ調査スヘシ
- 第八項 退役准士官以上及元下士以下ノ者ニシテ豫メ國民軍編入ノ許可ヲ受ケタルモノハ召集規則第一條第一種ニ屬スルモノトシ調査スヘシ但其人員ハ召集規則第七條第八條第九條配賦人員及其率トナスヘキ總員ニ加フルモノトス
- 第九項 國民軍編入志願者ニシテ退役准士官以上ノモノハ師團長ニ於テ之ヲ許可シ元下士以下ノ

モノニ在テハ大隊區司令官、警備隊區司令官ヲシテ許可セシムヘシ

第十項 召集規則第一條第三種第四種ニ屬スル者ノ名簿二十歳以下ノハ豫メ備置クニ及ハス

第十一項 第一種第二種國民兵召集名簿及人員表整理期限ハ明治二十八年ニ限リ師團司令部ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ

第十二項 前諸項ニ掲クル外國國民兵召集ニ關スル細則ハ師團司令部及地方廳ニ於テ規定スヘシ

〔參照〕

陸軍省令第二號國民兵召集規則(明治二十八年二月一日)抄錄

第一條 國民兵召集ヲ別テ左ノ四種トス

第一種 陸軍ニ於テ軍事教育ヲ受ケタル者

第二種 滿二十一歳以上二十六歳未満ニシテ陸軍豫備隊員タリシ者

第三種 滿二十六歳以上三十歳未満ニシテ陸軍豫備隊員タリシ者

第四種 前三種ニ屬セサル者

第七條 師團長國民兵召集令ヲ下ストキハ之ト同時ニ召集ノ種類所要ノ人員及召集地ヲ定メ旅團長ヲ經テ大隊區司令官ニ達シ又地方長官ニ通知スヘシ

師團長所要ノ人員ヲ定ムルニハ召集區域中召集ノ種類毎ニ其總員ヲ算シテ召集地ニシテ之ヲ各郡ニ配賦ス

配賦ス但郡賦人員ニハ檢査不合格見込人員凡十分ノ一ヲ加算スルモノトス

第八條 大隊區司令官前條ノ達ヲ受ケレハ各郡ニ配賦スヘキ人員召集地及應召員ノ一旦集合スヘキ地點並ニ其集合期日ヲ定メ之ヲ郡長ニ通知ス

大隊區司令官召集人員ヲ定ムルニハ大隊區中召集ノ種類毎ニ其總員ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各郡ニ配賦ス

大隊區司令官ハ各郡ノ應召員並ニ其召集地到着ノ時日ヲ豫定シ之ヲ旅團長ヲ經テ師團長ニ報告スヘシ

第九條 郡長ハ地方長官ヨリ國民兵召集令ヲ受領シ大隊區司令官ヨリ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ召集令、召集スヘキ人員、召集地、集合地及集合期日ヲ町村長ニ通知シ且集合地ニハ吏員ヲ派遣スヘシ

郡長召集人員ヲ定ムルニハ郡中召集ノ種類毎ニ其總員ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ各町村ニ配賦ス

○陸軍省訓令甲第二號

明治二十五年陸軍省訓令甲第六號ヲ左ノ通改正ス

北海道廳 府縣 沖繩縣

明治二十八年三月七日

陸軍大臣 伯爵西郷從道

陸軍軍人ニシテ年齢四十歳未満ノ者後備滿期ノトキ及陸海軍豫備隊員滿期ノトキハ其名簿後備滿期ノ者ヲ大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ヨリ島廳郡市役所(東京、京都、大阪ノ三市ニシテハ戰時名簿)付セシメ候條之ヲ國民兵名簿トシ四十歳ニ至ル迄保存セシム可シ但從來道廳府縣廳ニ保存シアル國民兵在役者ノ名簿ハ此際島廳郡市役所ニ交付ス可シ

○大藏省訓令第七號

北海道廳 府縣

明治二十六年大藏省訓令第三十三號第一號書式中明治二十八年年度以降節科目及年額ヲ削除シ又括弧中金額以下ノ十字ヲ「其廳所管ニ屬シタル順序ニ依リ」ノ十四字ニ改ム

明治二十八年三月九日 大藏大臣 渡邊國武

〔參照〕

明治二十六年十月十日 大藏省訓令第三十三號第一號書式ハ歳出經營部思案諸課仕務明細書書式ナリ

○内務省訓令第二號

警視廳 北海道廳 府 縣
煤治監 土木監督署 衛生試驗所
臨時橫濱築港局

明治二十八年度當省所管歳出科目表別冊ノ通相定ム

内務大臣 子爵野村 靖

○大藏省訓令第八號

府 縣

明治二十六年三 大藏省訓令第六號内國稅徵收費科目左ノ通改正シ明治二十八年年度ヨリ施行ス

明治二十八年三月十六日 大藏大臣 渡邊國武

運搬及人足賃	運搬賃 運搬費ノ解疏ニ同シ但郵送賃モ此節ニ編入ス	人足賃 大藏省印紙盤札藏出シ人足賃	訴訟費	賠償金 納納處分及間接國稅犯則者處分外ノ訴訟費但官吏出府旅費モ此目ニ編入ス	旅費	内國旅費	赴任旅費	管外旅費	管内旅費	土地検査旅費 土地検査監督旅費モ此節ニ編入ス	間税検査旅費 間税検査監督旅費モ此節ニ編入ス	災害地出張旅費	雜給及雜費	給與	雇勞金 給仕小使雇勞手當	雇員給
--------	-----------------------------	----------------------	-----	--	----	------	------	------	------	---------------------------	---------------------------	---------	-------	----	-----------------	-----

備人料	給仕小使給料、職工及人足賃	被服費	給仕小使等ノ被服及靴料	雜費	寫字及算入料 一搬ノ寫字及算入生但枚數當リヲ以テ支給スルモノニ限ル	諸謝金	廣告料	家屋其他借料	舟車馬類借賃	道路疏水等手當	官吏療治料	沖繩縣稅品取扱費	沖繩縣稅品取扱費
廣告料	稅品賣捌ニ要スル新聞紙廣告料	家屋其他借料	稅品賣捌ニ要スル修繕費	段布延尺買上代	細細上布延尺買上代	運搬費	運搬費 運搬費ノ解疏ニ同シ	器具器械	稅品検査及賣捌上ニ要スル器具器械ノ類	雜給	稅品鑑定人評價人秤量人秤取人藏番人給料人足賃ノ類	給	稅品検査及賣捌上ニ要スル器具器械ノ類

○大藏省訓令第九號

明治二十六年三月 大藏省訓令第七號内國稅徵收費配賦並取扱順序左ノ通改正シ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス

府 縣

明治二十八年三月十六日

大藏大臣渡邊國武

内國稅徵收費配賦並取扱順序

第一條 内國稅徵收費豫算配賦ヲ分チテ左ノ二類トス

第一類費

- 一 委任俸給
- 二 判任俸給
- 三 廳費
- 四 内國旅費
- 五 雜給及雜費
- 六 沖繩縣稅品取扱費

第二類費ヲ除ク

第二類費

- 一 各所修繕
- 二 滯納及間接國稅犯則者處分費
- 三 鑑札製造費
- 四 運搬及人足賃
- 五 内國旅費
- 六 備人料

土地検査ニ要スル旅費
土地検査ニ要スル人足賃

第三類費

- 一 退官賜金
- 二 死亡賜金
- 三 所得稅調査費
- 四 市町村交付金
- 五 印紙買戻金
- 六 賠償及訴訟費

第二條 第一類費ハ豫算年額ヲ定メ之ヲ配賦ス

第三條 第二類費ハ所要ノ年額見込明細書及金庫月別仕譯書ヲ製シ四月十日以内ニ請求スヘシ

第四條 第三類費ハ支出ヲ要スル毎ニ精算金額明細書ヲ製シ之ヲ請求スヘシ但第三中ノ臨時取調掛手當及雜費ハ其所要見込金額ヲ以テ請求スルコトヲ得

第五條 第一類費中廳費豫算配賦額ハ之ヲ各自ニ分配シ配賦後十五日以内ニ之ヲ報告スヘシ

第六條 第一類費ノ豫算配賦ヲ受ケタルトキハ該事業ニ對シ分配計畫ヲ定ムヘシ但收稅部、收稅署ニ計畫シタル各目限ノ金額ヲ四月三十日限リ主稅局ニ報告スヘシ

第七條 豫算配賦額各項中目ノ金額彼此流用ヲ要スルトキハ流用ノ上年度末ニ至リ取纏メ翌年度四月十日以内ニ之ヲ報告スヘシ但報告書ハ各目毎ニ過不足ヲ生スル金額、理由及現豫算額仕拂命令濟額仕拂命令未濟額ヲ記載スヘシ

第八條 第二類費中第五、第六及間稅検査旅費、監督旅費、其他特ニ用途ヲ指定シ配賦シタル金額ハ許可ヲ得ルニアラサレハ他ニ流用又ハ轉用スルコトヲ得ス

第九條 第二類費中第二、第三、第四ノ豫算配賦額ニ不足ヲ生シタルトキハ其所要ノ精算金額明細書ヲ製シ増額ヲ請求スヘシ但明細書ニハ所要ノ金額事由、現豫算額、仕拂命令濟額仕拂命令未濟額等ヲ記載スヘシ

第十條 各目又ハ特ニ用途ヲ指定シ配賦シタル金額精算上剩餘ヲ生シ又ハ生スヘキ見込アルトキハ其時々金額ヲ報告スヘシ

第十一條 過年度ニ屬スル經費ノ支出ヲ要スルトキハ共事實ヲ詳悉シ伺出ヘシ

大林区署

○農商務省訓令第三號
文具規則左ノ通相定メ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス

但明治二十四年四月當省訓令第十八號特別用文具備付規則ハ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス
明治二十八年三月十九日 農商務大臣子爵榎本武揚

文具規則

第一條 左ノ物品ハ普通用文具トシ使用者ノ自辨トス

- 筆
- ペン先
- ペン軸
- 鉛筆
- 墨
- 朱墨
- インキ
- 認印用印肉
- 卷紙
- 押紙
- 硯石
- 硯箱
- インキ壺
- 字消護膜
- 小刀
- 錐
- 簿記用海綿
- 糊壺
- 水入
- 文鏡
- 定木
- 認印用肉池
- 尺度
- 鳥口
- ゴンパス
- 紙挾
- 火熨斗
- 鍍金
- 留針
- 机拂用ブラシ

第二條 左ノ物品ハ特別用文具トシ必要ト認ムルトキハ共用トシテ備置キ隨時供用セシムルコトヲ得

- 一文鏡
- 製圖用特種ノモノ
- ゴンパス
- 同上
- 鳥口
- 同上
- 一定木
- 同上

一 尺度 同上

一 鉛筆 同上

一 ペン先 同上

一 朱墨 同上

一 筆 同上

一 墨 同上

一 大硯石 標木ヘ大文字認用ノモノ

一 インキ 複寫版用ノモノ

第三條 特別用文具ハ林区署物品會計規程ニ定ムル手續ニ依リ供用主任ヲシテ管守セシメ更ニ供用セシムルモノトス

第四條 特別用文具供用上取締ノ方法ハ大林区署長之ヲ定ムヘシ

北海道廳 府縣

○大藏省訓令第十號
明治二十八年度當省所管歳出中恩賞諸科科目左表ノ通之ヲ定ム

大藏大臣伯爵松方正義

歳出經常部

款	項	目	文官恩給	文官遺族扶助料	文官一時賜金	軍人恩給	陸軍恩給
恩賞諸科	賞勳年金	賞勳年金					
			文官恩給				

陸軍遺族扶助料	陸軍一時賜金	海軍一時賜金	海軍遺族扶助料	海軍一時賜金	學校職員恩給	學校職員恩給	學校職員遺族扶助料	學校職員一時賜金	小學校教員恩給補助
沖繩縣諸縣	沖繩縣金	沖繩縣社	沖繩縣寺	沖繩縣僧侶飯米	既定外國人恩給	既定外國人恩給	外國人恩給	外國人恩給	外國人恩給

○大藏省訓令第十一號

本年當省訓令第六號明治二十八年當省所管歲入科目表中歲入臨時部雜收入ノ款返納金ノ項末位ニ据置貸ノ目ヲ加フ

明治二十八年三月二十七日

大藏大臣 伯耆松方正義

○農商務省訓令第四號

狩獵法取扱手續左ノ通相定ム

明治二十八年三月二十七日

農商務大臣 子爵榎本武揚

狩獵法取扱手續

第一條 狩獵法第十九條第一項ニ據リ鳥獸ノ捕獲ヲ許可セントスルトキハ豫メ其捕獲スヘキ鳥獸

ノ種類員數及捕獵期限ヲ定ムヘシ

同條第二項ニ據リ有害鳥獸ノ驅除ヲ出願スル者アルトキハ被害ノ狀況ヲ調査シ必要ト認メタル場合ニ限り驅除期限及區域ヲ定メ之ヲ許可スヘシ

本條第一項ノ捕獲許可ノ期限ハ三週日以内トス

第二條 第一條ニ據リ鳥獸ノ捕獲又ハ驅除ヲ許可スルトキハ期限ヲ定メ其鳥獸ノ名稱及員數ヲ報告セシムヘシ

前項ノ報告ハ毎月十五日マテニ前月分ヲ取纏メ第一號表第二號表ノ區別ニ從ヒ本大臣ニ差出スヘシ

第三條 免狀ハ毎年使用高ヲ概算シ其年七月三十一日限り本大臣ニ請求スヘシ

第四條 免狀原簿ヲ備置キ免狀下付ノ際之ニ其番號獵者ノ住所族籍職業氏名及年齢ヲ登錄スヘシ

第五條 免狀ニハ獵者ノ住所族籍職業氏名及年齢ヲ記入シ廳印ヲ捺捺スヘシ

第六條 免狀ヲ亡失シタル者アルトキハ其種類番號及亡失者ノ住所族籍職業氏名及年齢ヲ官報又ハ其他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

第七條 獵者ヨリ免狀ヲ返納シタルトキ及概算ヲ以テ領收シタル免狀ニ剩餘ヲ生シタルトキハ之ヲ斷裁スヘシ

第八條 免狀統計表ハ第三號表式ニ據リ調製シ毎年甲種ハ十二月十五日マテ乙種ハ五月十五日マテニ本大臣ニ報告スヘシ

第	鳥獸捕獲表				自明治何年何月何日		應府縣名
	鳥獸名	雌	雄	北	社	計	
一							郡村氏名

死傷手當	死傷手當	修繕費	各所修繕	標柱費	警用品代料	使	運搬費	郵便電信料	通信運搬費	消耗品	視小道具類
官役人夫死傷手當			一箇所五百圓未満、建物移轉、建層、樹木石類、植木職工手間等修繕ノ目的ニ出ルモノ、及ヒ井戸側井戸替受買共	境界標杭、制札	視舍官舍借家料、借地料、厩料	貨至急召喚狀使費	物品運送ニ用ユル荷札、柳行李、細引、繩、繩、填物等及荷造買、保險料共、但物品運送ノ人足賃及日雇人足ハ假令物品ヲ運搬セシムルモ此節ニ編入セス	郵便電信料、郵便爲換料、電信持込費共、電話機使用料、電鈴共	雜用品類、薪炭油類、薪炭、石炭、種油、石炭油、ペンキ、器械用油等ノ類、燭燭生、燭付木、燭心、藥品、寒天、飲用水	視小道具類、視文、鏡、コンパス、烏口、定木、算盤、肉油、繪ノ具、皿等ノ類	

給與	給與	雜費	被服費	備人料	官吏療治料	雜給及雜費	旅費	訴訟費	賠償及訴訟費
諸謝金、醫師、官物拾得者、評價人、鑑定人等ノ類	道路疏水等手當、上水賦金、道路撤水除雪費等	舟車馬類雇賃、小林區署員部内巡迴渡舟賃	諸告料、公文物件等新聞紙廣告料、官吏、小使、防火人足、官林盜伐犯人取調及護送中ノ食料	寫字料、寫圖料共、但枚數當ヲ以テ支給スルモノニ限ル	給仕、小使、定雇夫、番人給料、職工及人足、官吏職務上ノ傷疾疾病療治料	官吏職務上ノ傷疾疾病療治料	官吏職務上ノ傷疾疾病療治料	官吏及證人、引合人、辯護士、旅費、評價人、鑑定人、雇料、執達吏、旅費、及手數料、辯護士謝金、郵便及電信料、訴訟用紙、紙及印刷代、預納金、對手人ニ仕勞ヲ認入費共	官吏及證人、引合人、辯護士、旅費、評價人、鑑定人、雇料、執達吏、旅費、及手數料、辯護士謝金、郵便及電信料、訴訟用紙、紙及印刷代、預納金、對手人ニ仕勞ヲ認入費共

○第四回内國勸業博覽會事務局訓令第三號

北海道廳 府縣

明治二十六年九月第四回内國勸業博覽會事務局訓令第一號中「官吏中」ノ三字ヲ除ク

明治二十八年四月四日

第四回内國勸業博覽會副總裁子爵榎本武揚

〔参照〕

第四回内國勸業博覽會事務局訓令第一號(明治二十六年九月八日)
其發下第四回内國勸業博覽會ノ出品ニ係ル一切ノ事務ヲ處理スル爲メ其廳官吏中便宜委員ヲ設クヘシ
但委員ヲ設ク又ハ變更シタルトキハ其都府官氏名ヲ届出ヘシ

北海道廳 府縣

○内務省訓令第三號

北海道廳 府縣

各管内所在ノ古社寺並著名ノ社寺及名所舊蹟ノ建築物並碑碣及著名ノ寶物類ニシテ保存ヲ要スヘキモノ左記調査事項標準ニヨリ詳細取調神社寺院佛堂及名所舊蹟等各別冊ニ調製シ來七月三十一日限リ取纏メ差出スヘシ

明治二十八年四月五日

内務大臣子爵野村 靖

古社寺調査事項標準

第一條 左ニ列記スル各種ノ一ニ當ルモノハ其事由詳細取調ヲ要ス

第一種 文明十八年以前創立ノ社寺

第二種 史乘中掲載ノ社寺ニシテ名區古跡ト稱スヘキモノ

第三種 境内風致秀拔ノ社寺ニシテ國郡ノ美觀勝地ト稱スヘキモノ

第四種 皇室ノ御崇敬又ハ武門ノ歸依ニヨリ若干ノ朱黒印地ヲ有シタル社寺

第五種 陵墓其他賢相名將等ノ古墳其境内ニ屬シタル社寺

第六種 勅願若クハ王子宮嬪賢相名將等ノ發願ニ由リ執行セル式法年中行事中ニ傳來シタル社寺

第七種 元祿十六年以前ノ創建ニ係ル巨大ナル社寺ニシテ其地方ニ於テ著名ナルモノ
 第八種 名所舊蹟ノ建築物並碑碣ノ類ニシテ神佛ニ緣由アルモノ
 第二條 取調書ハ各社寺佛堂等一箇所毎ニ各別ニ調製シ其掲記スヘキ事項ハ左ノ順序ニ依リ記載スヘシ

- 一 所在地名
某府縣國郡市町村大字小字ヲ記載スヘシ
- 二 社寺佛堂若クハ名所舊蹟名稱
社格アルモノハ社格ヲ記載シ寺格アルモノハ寺格ヲ記シ且寺院ハ宗名ヲ記載スヘシ
- 三 祭神若クハ本尊名稱
神社ハ祭神名並配祀アルモノハ配祀名寺院佛堂ハ本尊名脇立アルモノハ脇立名ヲ記載スヘシ
- 四 事由
創立ノ由緒沿革ノ要領及第一種ヨリ第七種ニ至ル事由ヲ詳細ニ記載スヘシ但シ社寺若クハ佛堂ニシテ第一條中二種以上ノ事項ヲ具ヘタルモノハ各其事項ヲ種類ノ順序ニ依リ詳記スヘシ
- 五 建物若クハ碑碣
名稱間敷坪數建設年代ヲ詳記シ繪圖面ヲ添フヘシ
- 六 境内地若クハ境域
社寺ハ境内地名所舊蹟ハ境域地ノ地種坪數平地山嶽等ヲ記載スヘシ
- 七 永續基本財産
特ニ建物等維持上ニ關シ永續基本ノ財産ヲ備ヘタルモノ共成立事由及動産若クハ不動産ノ種類名稱價額並收入支出管理ノ方法等ヲ詳記スヘシ
- 八 寶物

社寺所傳ノ古文書縁起及寶物類ノ特ニ著名ニ係ル物件其傳來ノ由緒並物質名稱製作人名等ヲ詳記スヘシ

- 九 境外所有地
田畑山林宅地等其段別總數ヲ記載スヘシ
- 十 繪圖面
土地建物山林等境域及四周ノ狀況ヲ詳ニスル見取圖ヲ要ス
前各項ノ外社寺佛堂若クハ名所舊蹟ニ於テ特殊ノ事由アリト認ムルモノハ別ニ備考ヲ設ケテ詳記スヘシ

○大藏省訓令第十四號
 本年三月當省訓令第六號明治二十八年年度歲入科目表租稅ノ款ノ末位ニ狩獵免許稅ノ項目ヲ加フ
 明治二十八年四月五日
 大藏大臣伯耆松方正義
 北海道廳 府縣

○大藏省訓令第十五號
 二十八年年度當省所管歲出經常部恩賞諸祿ノ款賞勳年金ノ項中目左記ノ通更正ス
 明治二十八年四月十一日
 大藏大臣伯耆松方正義

二十八年度歲出經常部

款	項	目
恩賞諸祿	賞勳年金	
	賞勳年金	別除
	旭日勳章年金	新設
	金鷄勳章年金	同上

〔參照〕

明治二十七年三月二日大藏省訓令第九號別冊ハ國稅彙帳、地租ニ關スル帳簿、土地產報市町村計ノ各樣式同訓令第十號別冊ハ荒地其他ノ年期地價減表、諸營業鑑札下付高表、國稅賦課現計書及報告表樣式ナリ

○農商務省訓令第六號

本年法律第二十號ヲ以テ狩獵法公布相成候處、帝室御獵場、御料地及御料牧場ニ於ケル有害鳥獸驅除ノ爲メ、
除ノ儀ハ二十六年當省訓令第二十一號及第二十三號ノ通心得ヘシ
明治二十八年四月二十日
農商務大臣子爵榎本武揚

〔參照〕

農商務省訓令第二十一號(明治二十六年九月二日)
帝室御獵場ニ於ケル有害鳥獸ノ驅除捕獲ハ宮内省主獵局ノ吏員之ニ從事スルニ付主獵局長ヨリ豫メ照會アリタルトキハ六箇月ヲ一期トシ之カ照會ニ應シ其驅除捕獲シタル鳥獸ノ名稱及員數ハ御獵場監守長ヨリ報告ヲ受クヘキ儀ト心得ヘシ
農商務省訓令第二十三號(明治二十六年十一月十三日)

御料地及御料牧場ニ於ケル有害鳥獸ノ驅除捕獲ハ宮内省御料局若クハ主馬寮ノ吏員之ニ從事スルニ付御料局長又ハ主馬頭ヨリ豫メ照會アリタルトキハ六箇月ヲ一期トシ之カ照會ニ應シ其驅除捕獲シタル鳥獸ノ名稱及員數ハ御料地ニ在テハ御料局長及同局支隊長事務所長御料牧場ニ在テハ該牧場長ヨリ報告ヲ受クヘキ儀ト心得ヘシ

○大藏省訓令第十八號

明治二十一年七月當省訓令第三十五號第二項中ハ調査委員會決議後ト雖モトアルヲ及課稅外ノ所得ヲ算入シタルモノハト更正ス
明治二十八年四月二十二日
大藏大臣伯爵松方正義

〔參照〕

大藏省訓令第三十五號(明治二十一年七月九日)抄錄
所得稅納稅者届出テタル書面ニ誤謬ノ點アルヲ以テ訂正方申出フルトキハ郡區長之ヲ審查シ其事實明確ト認ムル者ニ限リ左ノ區別ニ從テ之ヲ取扱フヘシ
第二項 届出ノ重複ニ涉レル者ハ調査委員會決議後ト雖モ郡區長ニ於テ之ヲ訂正スルコトヲ得

○農商務省訓令第七號

所轄官林内ニ於テ有害鳥獸ノ驅除ヲ必要ト認ムル場合ハ本年法律第二十號狩獵法第十九條第二項及本年當省訓令第四號狩獵法取扱手續第一條第二項ニ準據シ地方廳ノ承認ヲ得タル上部下ノ吏員ヲシテ驅除方實施セシメ其驅除シタル鳥獸ノ名稱及員數ハ毎月十日迄ニ前月分ヲ取纏メ地方廳ニ報告スル儀ト心得ヘシ
明治二十八年四月二十二日
農商務大臣子爵榎本武揚

〔參照〕

法律第二十號狩獵法(明治二十八年三月二十七日官報)抄錄
第十九條 捕獲ヲ禁スル鳥獸ト雖學術研究其ノ他特別ノ理由ニ因リ捕獲ヲ要スルトキハ地方長官ハ特ニ其ノ許可ヲ與フルコトヲ得
有害鳥獸ヲ驅除スル爲メ必要ト認ムル場合ニ於テモ亦同シ

農商務省訓令第四號狩獵法取扱手續(明治二十八年三月二十七日)抄錄
第一條 狩獵法第十九條第一項ニ據リ鳥獸ノ捕獲ヲ許可セントスルトキハ豫メ其捕獲スヘキ鳥獸ノ種類員數及捕獲期限ヲ

定ムヘシ

同條第二項ニ據リ有害鳥獸ノ驅除ヲ出願スル者アルトキハ被審ノ狀況ヲ調査シ必要ト認メタル場合ニ限り驅除期限及區域ヲ定メテ之ヲ許可スヘシ

○農商務省訓令第八號

警視廳 北海道廳 府縣 東京府

明治二十八年度當省所管臨時歲出獸疫費科目ハ前年度通り襲用ス

農商務大臣子爵榎本武揚

明治二十八年四月二十四日

○遞信省訓令第一號

廳府縣 東京府 船舶司檢所

船燈信號器及救命具試驗檢定及監查手續左ノ通之ヲ定メ本年當省令第四號實施ノ日ヨリ施行ス

明治二十八年四月二十七日

遞信大臣渡邊國武

船燈信號器及救命具試驗檢定及監查手續

- 第一條 船燈、信號器及救命具ノ標本ヲ試驗スルトキハ先ツ其仕様書ト照合シ若シ相違ノ廉アルトキハ製造若クハ販賣免許申請人ヲシテ其標本ヲ改作セシメ若クハ仕様書ヲ訂正セシムヘシ
- 第二條 船燈ノ材料ハ玻璃ト銅、真鍮若クハ鐵ヲ用ヒ玻璃ハ寒氣ニ堪ヘ凍氷ノ爲メ龜裂セサル品質ヲ用ヒ其接合ノ部分ハ密著シテ毫モ間隙ナク堅牢ニ構造シタルモノヲ合格トナスヘシ但海上衝突豫防法第七條第九條ニ依リ小形船及漁船ニ於テ用フヘキ船燈ハ本條ニ記載スル金屬ヲ使用セサルモ堅牢ナリト認ムルトキハ合格トナスコトヲ得
- 第三條 船燈ノ空氣孔ハ上下共ニ不釣合ナク油壺ハ燈油ノ漏洩セサル様堅牢ニ之ヲ製造シ點火口ノ抑ヘ金及注油口ノ栓ハ螺旋形ノ裝置ナルモノヲ合格トナスヘシ
- 第四條 船燈ノ光達距離ハ海上衝突豫防法ニ規程スル距離ニ到達シ其射光方位ハ同法ニ規程スル方位ニ適合スルモノヲ合格トナスヘシ
- 船燈ノ光達距離ハ實視試驗ニ依リ若クハ光達距離測定器ヲ以テ之ヲ算定シ其射光方位ハ玻璃球

ノ弧ニ對スル全圓ノ中心ヨリ玻璃球ノ弧ノ中央ニ至ル直線ト玻璃球ノ各端ヨリ點火口ノ兩端(若シ八字形ナルトキハ其後端)ヲ經テ引キタル二直線トノ交切點ヨリ玻璃球ノ各端ヘ引キタル直線間ノ弧度ヲ射光方位トス

第五條 機械製霧中號角、空中ニ高響及星火ヲ發スル榴彈、火箭、紅光焰管、焰管竝ニ救命焰ハ其用方及保存ノ適否ヲ調査シ且之ヲ吹鳴若クハ發火セシメ其成績各良好ナリト認ムルトキハ之ヲ合格トナスヘシ

第六條 救命浮環ハ二十四斤以上救命浮帶ハ十一斤二五以上ノ重量ヲ附著シテ之ヲ水中ニ投入シ二十四時間水面ニ浮游シ其構造良好ナリト認ムルトキハ合格トナスヘシ

第七條 船燈、信號器及救命具ヲ試驗シタル主任官吏ハ其成績報告書ヲ作り遞信大臣ニ差出スヘシ

第八條 船舶司檢所又ハ地方官廳ニ於テ船燈、信號器及救命具ノ免許製造人若クハ免許販賣人ヨリ其製造品若クハ販賣品ノ檢定申請ヲ受ケタルトキハ檢定官吏ヲ命シ其製造所若クハ販賣所ニ就キ檢定セシムヘシ

檢定官吏ハ船燈、信號器及救命具ノ製造品若クハ販賣品ヲ其原器、仕様書及試驗成績書ニ照ラシテ之ヲ査覈シ必要ト認ムルトキハ各種類毎ニ一二箇ヲ實地ニ試驗シ合格ト認ムルトキハ檢印ヲ附シ不合格ト認ムルトキハ不合格ノ點ヲ懸篤ニ指示シ之ヲ改更セシムヘシ

第九條 第八條ニ依リ檢印ヲ附スルトキハ船燈、機械製霧中號角及救命焰ニハ極印ヲ押捺シ空中ニ高響及星火ヲ發スル榴彈、火箭、紅光焰管及焰管ニハ紙札ヲ貼附シ救命浮環及救命浮帶ニハ朱肉印又ハ黒肉印ヲ押捺スヘシ

前項ノ極印、紙札及朱肉印又ハ黒肉印ニハ檢定官吏ノ官氏名ヲ記スヘシ

第十條 船舶司檢所又ハ地方官廳ニ於テハ第一號書式ニ依リ檢定報告書ヲ作り前年十二月末日迄

ノ分ヲ翌年二月十五日限り逓信省ニ差出スヘシ

第十一條 船舶司檢所ニ於テ外國人ヨリ船舶ト共ニ購入シ又ハ外國人ヨリ購入シタル船燈、信號器、救命具ノ檢定申請ヲ受ケタルトキハ第二條乃至第六條ニ準シテ之ヲ查覈シ合格ト認ムルトキハ檢印ヲ附シシテ不合格ト認ムルトキハ其使用ヲ差止ムヘシ但檢印ハ第九條ノ例ニ依ルヘシ

第十二條 監査官吏船燈、信號器及救命具ノ製造所及販賣所並ニ碇泊船舶ニ臨檢シ修繕ヲ要スヘキモノアルトキハ其修繕ヲ命シ汚損若クハ朽腐シテ實用ニ適セサルモノアルトキハ其檢印ヲ取消シ又ハ檢印ナキモノヲ使用スルモノアルトキハ犯則ノ處分ヲ爲スヘシ

第十三條 船燈、信號器及救命具取締規則施行以前ヨリ船舶ニ備附ケ使用スル船燈、信號器、救命具ハ第二條乃至第六條ニ準シテ之ヲ查覈シ合格ト認ムルトキハ檢印ヲ附シ不合格ト認ムルトキハ其使用ヲ差止ムヘシ

第十四條 監査官吏ハ船長若クハ運轉手ニ對シ船燈、信號器、救命具隔板ノ裝置及其用方ヲ諮詢シ了知セサルモノアルトキハ懲罰ニ之ヲ教示スヘシ

第十五條 船舶司檢所又ハ地方官廳ニ於テハ第二號若クハ第三號書式ニ據リ監査報告書ヲ作り前年十二月末日迄ノ分ヲ翌年二月十五日限り逓信省ニ差出スヘシ

第十六條 明治十四年八月二十五日農商務省商務局ニ於テ定メタル船燈製造方法及同二十年ニ逓信省訓令第一號船燈信號器監査手續ハ本手續實施ノ日ヨリ廢止ス

第一號書式

從明治 年 月 日 船燈信號器救命具檢定報告

製造人 氏 名

販賣人

種別	燈		白燈				紅燈	三色燈	碇泊燈	兩色燈	舷燈	燈	燈	合格		不合格	
	四十噸以上ノ汽船用	四十噸未滿汽船用	四十噸以上ノ汽船及二十噸以上ノ帆船用	四十噸未滿汽船用	電信線布設及引揚用	刺網漁船用								綵網漁船用	水先船用	船尾掲標用	操舵目標用

但浴室廁ヲ備フヘシ
 一消毒所
 但洗濯所ノ附屬ヲ要ス
 一屍室
 一汚物置場及燒却所
 一物置
 町村ニ於テハ其狀況ニヨリ重症患者室輕症患者室及快復期患者室ヲ同一建物中ニ區劃シテ設ケルコトヲ得
 一病室ノ廣サハ患者一人ニ付凡一坪半ノ割合ヲ以テ造ルヘシ
 一病室ハ床側壁トモ板張ト爲シ總テ洗滌消毒ニ便スヘシ
 一屍室ハ床ヲ漆喰敷キ又ハ板張ト爲スヘシ
 一各病室ノ床下ハ可成漆喰敷キト爲シ多少ノ傾斜ヲ付シテ汚水ノ流下ニ便ニシ別ニ滲透セサル汚水溜ヲ設ケテ之ニ入ルノ施設ヲ爲スヘシ
 一避病院ニハ左ノ割合ヲ以テ醫師調劑掛、看護人、事務員ヲ置クヘシ
 一醫長 一人 一醫員 患者十五名乃至二十名ニ付一人
 一調劑掛 二人以上 一看護人 患者五名ニ付一人
 一事務員 若干
 町村ニ於テハ其狀況ニヨリ別ニ醫長、調劑掛ヲ置カズ醫員ニ於テ之ヲ兼ヌルコトヲ得

○内務省訓令第五號
 天台宗
 其宗大僧正石室孝暢大僧正中山玄航ニ天台宗事務取扱ヲ命シ宗制寺法ニ依リ宗務ヲ處理セシム
 明治二十八年五月三日
 内務大臣子爵野村 靖
 府 縣

○大藏省訓令第十九號
 明治二十八年三月
 大藏省訓令第八號内國稅徵收費科目中災害地出張旅費ノ目ヲ削除ス
 明治二十八年五月四日
 大藏大臣伯爵松方正義
 北海道廳 府縣

○内務省訓令第六號
 明治十九年十月
 内務省訓令第二十號戶籍登記ニ關スル書式中左ノ通改正ス
 明治二十八年五月七日
 内務大臣子爵野村 靖
 登記目録部門並事項書式第一加籍目録他府縣ヨリ入籍之部八號棄兒引取、同上書式第二除籍目録他府縣へ送籍之部八號棄兒引渡、登記目録書式第五中第八項、同上書式第十一中第八項ヲ削除シ
 登記目録部門並事項書式第二及登記目録書式第十中失踪者及重籍者除籍之部トアル失踪者ノ下へ棄兒ノ二字ヲ加ヘ尙登記目録書式第十二左ノ一項ヲ加フ
 何村何番地平民氏名引受棄兒 氏 名
 右名何縣何郡何村何番地平民氏名三男名ナルコト發覺何地何裁判所裁判言渡何月何日届出ニ付除籍

○大藏省訓令第二十號
 出納官吏
 出納官吏ニ於テ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ其保管ニ屬スル現金ニ送付

書ヲ添へ金庫へ寄托セントキハ出納官吏現金出納簿中拂ノ欄ニ其金額ヲ登記スル儀ト心得ヘシ
明治二十八年五月九日 大藏大臣伯爵松方正義

廳 府 縣

○内務省訓令第七號

軍軍法會議ノ處斷ヲ受ケ地方監獄ニ拘禁セラルヘキ者ニ在テハ軍籍又ハ所屬部隊アルモノハ其
屬スル軍衛又ハ部隊所在ノ地方監獄ノ所屬トシ軍籍又ハ所屬部隊ナキモノハ該囚住居地ノ地方監
獄現在ノ住居地ナキモノハ最終ノ住居地地方監獄ニ屬スル儀ト心得ヘシ

明治二十八年五月十五日 内務大臣子爵野村 靖

北海道廳 府縣

○大藏省訓令第二十一號

本年三度大藏省訓令第十二號ヲ以テ貯蓄銀行ニ於テ供託スヘキ金額ニ關シ及訓令候處右金額ハ複利
ノ方法ヲ以テスル預金總高ニ基キ計算スル儀ニ有之此旨更ニ訓令ス

明治二十八年五月二十七日 大藏大臣伯爵松方正義

〔參照〕

大藏省訓令第十二號(明治二十八年三月二十八日)抄録
令般法律第十七號ヲ以テ改正相成候貯蓄銀行條例第四條ニ依リ供託スヘキ金額ハ貯蓄銀行ニ於テ何等ノ名稱ヲ用ユルモ其
銀行ノ預金總高ニ基キ計算スル儀ト心得ヘシ(改正)

廳 府 縣 東京府

○内務省訓令第八號

巡查採用規則第一條左ノ通り改正ス
第一條 巡查ハ試験ノ上採用スヘキモノトス但シ左ニ記載シタル者ハ此限リニアラス

- 一 警部警部補ノ職ヲ奉シタル者
- 二 巡查精勤證書ヲ有スル者
- 三 陸海軍現役滿期下士以上ノ者

四 陸軍兵卒ニシテ現役滿期トナリ又ハ戰時召集ヲ解除セラレ下士適任證書ヲ有スル者
明治二十八年五月二十九日 内務大臣子爵野村 靖

〔參照〕

内務省訓令第二十一號巡查採用規則(明治二十四年九月三日)抄録
第一條 巡查ハ必試験ノ上採用スヘキモノトス但陸海軍現役滿期下士以上ノ者及巡查精勤證書ヲ有スル者並ニ曾テ警部警
部補タリシ者ニシテ巡查ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス

○内務省訓令第九號

神道各教派
佛道各宗派

神道佛道各教宗派教師ハ布教傳道ノ任ニ在ルヲ以テ學識德行兼備シ世上ノ崇敬欽仰ヲ受クヘキモ
ノタリ故ニ其分限及等級ヲ定ムルニ當リ特ニ其手續ヲ精確詳悉ニシ濫補ノ弊ナカラシムルコトヲ期ス
ヘシ然ルニ現今教師中無學悖德ニシテ其任ニ適セサルモノ尠ナカラズト聞ク斯ノ如キハ當ニ教師
ノ本分ヲ盡クス能ハサルノミナラス其弊延テ教義宗旨ノ不振及德義ノ廢頹ヲ來シ遂ニハ教宗派ノ
衰微ヲ招キ茶毒ヲ社會ニ流布スルコトナキヲ保シ難シ其弊源一ニシテ足ラズト雖トモ主トシテ教
規又ハ宗制寺法中教師檢定ニ關スル條規ノ不備ニ基クモノトス是レ實ニ各教宗派ニ於テ寸刻モ其
條規ヲ改定スルニ躊躇スヘカラサル所ナリ殊ニ明治二十三年小學校令ノ發布以來滿六歲以上十四
歲以下ノ兒童ハ該勅令第二十一條ニ該當スル者ヲ除ノ外ハ小學校其他ニ於テ普通教育ヲ受クルニ
至レリ故ニ斯ノ如キ人民ニ布教傳道スル教師ハ教義宗旨ニ精通スルノ外尙尋常中學校相當以上ノ
學識ヲ具備スルニアラサレハ到底其任ニ適セス仍テ各管長ハ此趣旨ヲ體シ左記ノ標準ニ據リ教規
又ハ宗制寺法ヲ改正増補シ若クハ其細則ヲ定メ本年九月三十日マデニ明治十七年太政官第十九號
布達ニ依リ本大臣ノ認可ヲ請フヘシ

一 檢定ノ方法

教師ノ分限及等級ヲ定ムルニ試験ニ依ルモノト試験ニ依ラサルモノトアルトキハ試験ニ依ルモノニハ志願者ノ資格、各等級ノ試験學科目並ニ試験ノ方法ヲ記載シ又試験ニ依ラサルモノハ志願者ノ資格及無試験檢定ニ必要ナル條件ヲ記載スヘシ

二 檢定ノ時期及場所

其時期ハ定時ナルヤ臨時ナルヤ又其場所ハ何處ナルヤヲ指定スヘシ

三 檢定委員

檢定委員ノ員數資格權限、任期並ニ選任ノ方法ヲ記載スヘシ

四 立會人

試験ニ立會人ヲ要スルトキハ其員數權限及選任ノ方法ヲ記載スヘシ

明治三十八年五月三十日

内務大臣子爵野村 靖

〔參照〕

勅令第二百十五號小學校令(明治二十三年十月七日官報)抄錄

第二十二條 貧窮ノ爲又ハ兒童ノ疾病ノ爲其他已ムラ得サル事故ノ爲學齡兒童ヲ就學セシムルコト能ハサルトキハ學齡兒童ヲ保護スヘキ者ハ就學ノ猶豫又ハ免除ヲ市町村長ニ申立ツヘシ

市町村長ハ前項ノ申立ニ依リ必要ナリト認ムルトキ又ハ前項ノ申立ナキモ猶必要ナリト認ムルトキハ學齡兒童若クハ學齡兒童ヲ保護スヘキ者ニ就キテ檢査ヲ行フコトヲ得

市町村長ハ本條第一項ノ申立又ハ第二項ノ檢査ニ依リ就學ヲ猶豫シ又ハ免除スルトキハ監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ

太政官第十九號布達(明治十七年八月十一日)抄錄

第四條 管長ハ各其立教開宗ノ主義ニ由テ左項ノ條規ヲ定メ内務大臣ノ認可ヲ得可シ

一 教規

一 教師タルノ分限及其稱號ヲ定ムル事

一 教師ノ等級進退ノ事

一 以上佛道管長ノ定ムヘキ者トス

二 宗制

一 寺法

一 僧侶並ニ教師タルノ分限及其稱號ヲ定ムル事

一 寺院ノ住職任免及教師ノ等級進退ノ事

一 以上佛道管長ノ定ムヘキ者トス

○農商務省訓令第九號

大林區署

明治三十八年三月當省訓令第五號森林經費科目表中へ左ノ通追加ス

明治三十八年五月三十日

農商務大臣子爵榎本武揚

臨時部山林原野調査費ノ款廳費ノ項標柱費ノ次位へ雜費ノ目ト寫字料ノ節ヲ設ク同上ノ末位へ雜給ノ項ト備入料ノ目ヲ設ク

○大藏省訓令第二十二號

明治二十八年三月當省訓令第六號明治二十八年年度歳入科目表中左ノ通追加ス

明治二十八年六月七日

歳入經常部雜收入ノ款辨償金ノ項ノ末位ニ酒造稅不納辨償金ノ目
同款雜入ノ項ノ末位ニ酒造稅官損金年賦上納ノ目

大藏大臣伯耆松方正義

北海道廳 府縣

○內務省訓令第十號

臨時檢疫部部長次長及檢疫官ハ左腕ニ檢ト朱書セル黃布ヲ纏ヒ記章トスヘシ

黃布ハ幅一寸質ハ絹トス

明治二十八年六月十三日

內務大臣子爵野村 晴

廳 府縣

○大藏省訓令第二十三號

地目ノ誤謬ヲ發見シ之カ訂正ヲ爲スニ當リ租額ニ増減ヲ生スルトキハ自今既納ノ地租ト訂正ノ地租トヲ對比シ其差額ヲ追徵若クハ還付スヘシ

明治二十八年六月十七日

大藏大臣伯耆松方正義

府縣沖繩縣ヲ除ク

○農商務省訓令第十號

明治二十五年農商務省訓令第二十二號度量衡檢定規程第二十七條ニ左ノ但書ヲ加フ
但直點ノ檢査ニ限リ調子玉ヲ以テ桿ノ水平若クハ脫ミヲ正スコトヲ得ルモノハ之ヲ合格トスヘシ

明治二十八年六月二十一日

農商務大臣子爵榎本武揚

北海道廳 府縣

〔參照〕

農商務省訓令第二十二號度量衡檢定規程(明治二十五年七月七日)抄錄
第二十七條 蓋ナキ桿秤ヲ檢査スルニハ其ノ器ノ大小ニ應シ第二秤架若ハ第三秤架ニ裝脱シ鐘ヲ逐次直點及盛ヲ出シニ懸

明治二十八年六月 訓令 大藏省第二十二號 第二十三號 內務省第十號 農商務省第十號

ケ桿ノ水平ヲ得サルモノ若ハ視ミノ一致セサルモノハ直ニ不合格トシ其ノ他ハ各段ノ目盛ニ就キ更ニ前條第二段以下ヲ適用スヘシ

○陸軍省訓令甲第三號

師團司令部 近衛師團司令部ヲ除ク

北海道廳 府縣ヲ除ク

明治二十八年陸軍省訓令甲第一號國民兵召集事務準則第七項ノ次ニ左ノ二項ヲ追加シ第八項以下逐次繰下ク

明治二十八年六月二十五日

陸軍大臣伯爵大山 巖

第八項 國民兵第一種中各兵科各部ヲ指定シ召集スルトキハ其指定シタルモノ、總數ヲ率トシ比例ヲ以テ大隊區以下ニ配賦ス

第九項 各召集區域内ニ於テ其配賦人員ヲ充足シ能ハサルトキハ召集規則第八條第九條及第十條ノ手續ニ依リ其補缺人員ヲ同召集區域内他ノ郡市若クハ町村ニ配賦ス

○陸軍省訓令甲第四號

第一師團司令部 屯田兵司令部

北海道廳 府縣 第二第三第四第五師團

陸軍召集旅費支出規程第一條ノ臨時召集旅費概算表調査方本年第二期ニ限リ明治二十七年當省訓令甲第一號ニ依リ取扱ハシムヘシ

但目下召集中ノ者ノ後備役延期ノ者ヲ除ク及明治二十七年十二月現役滿期トナルヘキ兵卒ハ歸郷シタルモノトシ調査セシムヘシ

明治二十八年七月二日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○内務省訓令第十一號

警視廳 府縣 集治監

土木監督署 衛生試驗所

臨時橫濱築港局

明治二十二年九當省訓令第三十六號物品出納規程第三條但書左ノ通改正シ本年七月十日ヨリ施行ス

但府縣島廳ニ於テハ島司集治監分監ニ於テハ分監長部局長ノ代理トシテ物品出納ノ命令ヲ發スルコトヲ得

○陸軍省訓令甲第五號

第三師團司令部

第三師管下諸縣

陸軍召集旅費支出規程第一條ノ臨時召集旅費概算表調査方本年第二期ニ限リ明治二十七年當省訓令甲第一號ニ依リ取扱ハシムヘシ

但目下召集中ノ者ノ後備役延期ノ者ヲ除ク及明治二十七年十二月現役滿期トナルヘキ兵卒ハ歸郷シタルモノトシ調査セシムヘシ

明治二十八年七月十一日

陸軍大臣伯爵大山 巖

○大藏省訓令第二十四號

明治二十八年三月當省訓令第六號明治二十八年當省所管歲入科目中歲入經常部雜收入ノ款辦償金ノ項中末位ニ檢疫消毒其他諸費辦償金ノ一目ヲ追加ス

明治二十八年七月十九日

大藏大臣伯耆松方正義

北海道廳 府縣

○逓信省訓令第二號

明治二十一年五月逓信省訓令第四號三等郵便局長採用手續同年五月逓信省訓令第五號郵便受取所取扱人採用規程及同年八月逓信省訓令第八號郵便貯金預所取扱人採用規程中左ノ通改正ス

明治二十八年七月十九日

逓信大臣渡邊國武

三等郵便局長採用手續第三條中「差出サシメ之ヲ」ヲ「徵シ任免報告書(書式)相添」ト改メ郵便受取所取扱人採用規程及郵便貯金預所取扱人採用規程第五條中「差出サシメ之ヲ」ヲ「徵シ命免報告書(書式)相添」ト改メ

(書式第五號)

三等郵便電信局長(郵便局長)任免報告	要	前局長何月何日何ニ依リ變更或ハ罷局ニ依リ新任
局長	名	何郵便電信局(郵便局)
局長	位	何國何郡(市)何町(村)何番地
局長	名	新局長何某 舊局長何某
任免請書日付	日付	任何年何月何日 任何年何月何日
身元引受人氏名	氏名	何某(身元保護人ヲ置キタルトキハ引受人ノ例ニ依リ列記ス(シ))

(書式第二號)

郵便受取所取扱人命免報告	要	前取扱人何月何日何ニ依リ變更或ハ取扱所設置ニ依リ命ス
郵便受取所名	名	何國何郡(市)何町(村)何番地
取扱人氏名	氏名	新取扱人何某 舊取扱人何某
取扱人手當	何級	何級
命免證書日付	日付	任何年何月何日 任何年何月何日
身元引受人氏名	氏名	何某(身元保護人ヲ置キタルトキハ引受人ノ例ニ依リ列記ス(シ))
身元引受人住所	住所	何國何郡(市)何町(村)何番地
身元引受人族籍	族籍	華士族平民
身元引受證書日付	日付	任何年何月何日

逓信大臣姓名殿

右報告ス
年月日

何局長某印

右報告ス

年月日

逓信大臣姓名殿

何局長某印

(書式第三號)

郵便貯金預所取扱人命免報告

前取扱人何月何日何ニ依リ變更或ハ取扱所設置ニ依リ命ス	郵便貯金預所名	何郵便貯金預所
取扱人氏名	何國何郡(市)何町(村)何番地	新取扱人何某
命免請書日付	命何年何月何日	免何年何月何日
身元引受人氏名	何某身元保證人ヲ置キタルトキハ引受人ノ例ニ依リ列記ス(シ)	
身元引受人住所	何國何郡(市)何町(村)何番地	
身元引受人族籍	華士族平民	
身元引受證書日付	何年何月何日	

右報告ス

年月日

逓信大臣姓名殿

何局長某印

(參照)

逓信省訓令第四號(明治二十一年五月一日)抄錄

第三條 一等郵便電信局長ニ於テ三等郵便局長ノ任官辭令書ヲ傳達スルトキハ受書^三及身元引受證書^三本人非戶主ナルトキハ戶主ノ保證書^三ヲ差出サシメ之ヲ本大臣ニ報告シ且採用ノ旨ヲ其地方長官及郡區長ニ通知ス(シ)其免官ノトキ亦同シ

逓信省訓令第五號郵便受取所取扱人採用規程(明治二十一年五月二十六日)抄錄
第五條 一等郵便電信局長ニ於テ郵便受取所取扱人ヲ任命スルトキハ辭令書ヲ交付シ受書及身元引受證書^三本人非戶主ナルトキハ戶主ノ保證書^三ヲ差出サシメ之ヲ本大臣ニ報告シ且採用ノ旨ヲ其地方長官及郡區長ニ通知ス(シ)其免職ノトキ亦同シ

逓信省訓令第八號郵便貯金預所取扱人採用規程(明治二十一年八月二十三日)抄錄
第五條 一等郵便電信局長ニ於テ郵便貯金預所取扱人ヲ任命スルトキハ辭令書ヲ交付シ受書及身元引受證書^三本人非戶主ナルトキハ戶主ノ保證書^三ヲ差出サシメ之ヲ逓信大臣ニ報告シ且採用ノ旨ヲ其地方長官及郡區長ニ通知ス(シ)其免職ノトキ亦同シ

○農商務省訓令第十一號

明治二十八年三月當省訓令第五號森林經費科目表解疏中左ノ通追加ス

明治二十八年七月二十日

大林區署

農商務大臣子爵榎本武揚

款	項	目	節	疏
林區署廳	費	逓信運搬費使	賃	至急召喚狀使賃ノ上(「郵便不便ノ地ニ於ケル公用狀及」)十四字ヲ加フ
	額	柱	費	境界標機制札ノ下(「土塚築造受賃共」)七字ヲ加フ
雜給及雜費雜				小林區署員部內巡迴渡舟賃ノ上(「人力車賃及」)五字ヲ加フ

○陸軍省訓令甲第六號

陸軍召集旅費支出規程第一條ノ臨時召集旅費概算表調查方本年第二期ニ限リ明治二十七年當省訓

明治二十八年七月 勅令 農商務省第十一號 陸軍省甲第六號

第五師團司令部
第五師管下諸縣

令甲第一號ニ依リ取扱ハシムヘシ
 但目下召集中ノ者ノ後備役延期及明治二十七年十二月現役満期トナルヘキ兵卒ハ歸郷シタルモノトシ調査セシムヘシ
 明治二十八年七月二十五日
 陸軍大臣伯爵大山 巖

○内務省訓令第十二號
 其派管長菅廣州ノ辭職ヲ認可シ黃梅院住職大江大道ニ事務取扱ヲ命ジ宗制寺法ニヨリ宗務ヲ處理セシム
 臨濟宗大徳寺派
 内務大臣子爵野村 靖

明治二十八年七月二十六日

○内務省訓令第十三號

内務省所管經費仕拂命令官

明治二十六年七月十二日 内務省訓令第二十二號第二條及第三條中「裏書ヲ爲」ノ四字ヲ削リ「記入」ノ二字ニ改メ第一號書式左ノ通改正ス
 但現行ノ書式ニ依リ既ニ印刷シタル分ハ便宜使用スルモ妨ケナシ

明治二十八年七月三十日
 第一號書式
 内務大臣子爵野村 靖

「備考」
 「證券印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ仕拂命令官ニ於テ其旨ヲ通知書ニ記入スヘシ」
 用紙適宜横四寸五分
 縦三寸三分

「主管省」	「番 號」	「現 金 仕 拂 金 庫」	「何 地 金 庫」	「受 取 人」
「某年度仕拂命令又ハ集合仕拂命令」	「取 扱 順 番」	「何 地 金 庫」	「何 地 金 庫」	「金 庫 日 付」
「何 號 金 額 氏 名 表 第 何 號」	「何 號 金 額 氏 名 表 第 何 號」	「何 地 金 庫」	「何 地 金 庫」	「受 取 人」
「ハ集合仕拂命令ノ場合ニ限ル」	「ハ集合仕拂命令ノ場合ニ限ル」	「何 地 金 庫」	「何 地 金 庫」	「受 取 人」

一金「何程也」

右金額ニ對スル仕拂命令本日前記金庫へ交付候條該金庫ヨリ
 現金ヲ受取ルヘシ

明治「何年」何「月」何「日」
 「何 某」殿
 「何 某」氏 名 印

前書ノ金額領收候也

明治「何年」何「月」何「日」

「何地金庫宛」

受 取 人
 「何 某」印

「何 某」印
 領收
 欄内へ
 年月日
 フ記入
 シ記名
 捺印シ
 テ之ヲ
 金庫ニ
 交付ス
 ヘシ

〔参照〕

内務省訓令第二十二號(明治二十六年十二月七日)抄録
 第二條 仕拂命令官集合仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルトキハ本訓令附屬第一號書式ノ通知書ヲ各受取人ニ交付シ受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨裏書ヲ爲シ之ヲ引換ニ現金ヲ金庫ヨリ受取ラシムヘシ
 第三條 仕拂命令官金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スル仕拂命令又ハ集合仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルトキハ通知書ヲ各受取人ニ送付シ現金領收ノ際受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨裏書ヲ爲シ之ヲ金庫ニ差出サシムヘシ但シ在外國受取人ヘノ送金及電信爲替ニ依リ送金スル場合ニハ本條ノ通知書ヲ送付スルニ及ハス

北海通廳 府縣
 明治二十八年八月一日 訓令 大藏大臣伯耆松方正義
 明治二十八年八月一日 訓令 大藏大臣伯耆松方正義
 項中末位ニ徵發賠償金ノ一目ヲ追加ス

○内務省訓令第十四號

本年虎列刺病發生以來漸次患者ノ數ヲ増シ今ヤ既ニ一萬有餘ニ及ヒ各地方殆ント病毒ノ浸染スル所トナリタルニ拘ラス未タ全國ヲ通シ甚キ流行ヲ見ルニ至ラサルモノハ畢竟豫防上ノ措置宜シキヲ得タルニ依ルヘント雖トモ病毒ハ將ニ大ニ蔓延セントスル勢アルヲ以テ此際市町村ハ勿論府縣郡ニ於テハ豫防消毒法ノ一層周到ナランコトヲ要ス已ニ管内ニ病毒侵入シ日々數多ノ患者ヲ發スルノ地方ニ在テハ諸般ノ設備ヲ擴充シテ益々内部ノ豫防ヲ嚴行シ又患者尙ホ少數ノ地方ニ在テハ其未タ傳播セサルニ先ダチ之カ撲滅ヲ圖リ外ハ船舶汽車等ノ檢疫ヲ以テ病毒ノ侵襲ヲ拒絶スルト同時ニ内ハ消毒豫防ノ法ヲ盡シ内外相應シ以テ防遏ノ實ヲ舉ケンコトヲ期スヘシ
 明治二十八年八月八日 內務大臣子爵野村 靖

○文部省訓令第二號

北海通廳 府縣
 明治二十七年文部省令第十四號實業教育費國庫補助法施行規則第三條ノ收支計算書ハ地方長官ニ於テ各科目ノ金額ト帳簿及證書トヲ對査シ其調書一通ヲ調製シ之ヲ添付スヘシ
 明治二十八年八月十六日 文部大臣侯爵西園寺公望

〔參照〕

文部省令第十四號實業教育費國庫補助法施行規則(明治二十七年六月二十日)抄錄
 第三條 補助ヲ受クル學校ノ經費豫算ハ每會計年度前三十日ヲ限リ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ功程及收支計算ハ每會計年度經過後六十日以内ニ文部大臣ニ報告スヘシ

○大藏省訓令第二十五號

明治二十八年三月當省訓令第六號明治二十八年年度當省所管歲入科目中歲入經常部雜收入ノ款辨償金ノ項中未位ニ徵發賠償金ノ一目ヲ追加ス

明治二十八年八月一日

大藏大臣伯爵松方正義

○内務省訓令第十四號

本年虎列刺病發生以來漸次患者ノ數ヲ増シ今ヤ既ニ一萬有餘ニ及ヒ各地方殆ント病毒ノ浸染スル所トナリタルニ拘ラス未タ全國ヲ通シ甚キ流行ヲ見ルニ至ラサルモノハ畢竟豫防上ノ措置宜シキヲ得タルニ依ルヘシト雖トモ病毒ハ將ニ大ニ蔓延セントスル勢アルヲ以テ此際市町村ハ勿論府縣郡ニ於テハ豫防消毒法ノ一層周到ナラントヲ要ス已ニ管内ニ病毒侵入シ日々數多ノ患者ヲ發スルノ地方ニ在テハ諸般ノ設備ヲ擴充シテ益々内部ノ豫防ヲ嚴行シ又患者尙ホ少數ノ地方ニ在テハ其未タ傳播セサルニ先ダチ之カ撲滅ヲ圖リ外ハ船舶汽車等ノ檢疫ヲ以テ病毒ノ侵襲ヲ拒絶スルト同時ニ内ハ消毒豫防ノ法ヲ盡シ内外相應シ以テ防遏ノ實ヲ舉ケンコトヲ期スヘシ

明治二十八年八月八日

内務大臣子爵野村 靖

○文部省訓令第二號

明治二十七年文部省令第十四號實業教育費國庫補助法施行規則第三條ノ收支計算書ハ地方長官ニ於テ各科目ノ金額ト帳簿及證憑書トヲ對查シ其調書一通ヲ調製シ之ヲ添付スヘシ

明治二十八年八月十六日

文部大臣侯爵西園寺公望

〔參照〕

文部省令第十四號實業教育費國庫補助法施行規則(明治二十七年六月二十日)抄錄
第三條 補助ヲ受クル學校ノ經費豫算ハ每會計年度前三十日ヲ限リ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ其ノ功程及收支計算ハ每會計年度經過後六十日以内ニ文部大臣ニ報告スヘシ

○農商務省訓令第十二號

明治二十七年五月當省訓令第十八號收入證明書類取扱手續左ノ通改正ス

大林區署

明治二十八年八月二十九日

農商務大臣子爵榎本武揚

森林收入證明書類取扱手續

第一條 主任收入官吏會計規則第九十五條ニ基キ毎年度會計検査院へ證明スヘキ收入計算書ニハ左ノ書類ヲ添へ成規ノ期限内(年度經過後)ニ於テ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

一 收入未済額明細書

本項明細書ハ租税外收入證明規程第三條ニ依リ當該年度ニ於テ收入未済ニ係ルモノアル場合ニ限リ證明スヘキモノニシテ別記第一號書式ニ依リ調製スヘシ

第二條 主任收入官吏會計規則第九十七條ニ基キ毎年度會計検査院へ證明スヘキ現金出納計算書ニハ左ノ書類ヲ添へ成規ノ期限内(年度經過後)ニ於テ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

一 現金拂込ニ對シ金庫ヨリ交付セル領收證書

本項證書ハ租税外收入證明規程第五條ニ依リ整理シ科目ノ順次ニ編纂シ表紙ニ總金額各目金額證書ノ枚數及主任收入官吏ノ官氏名ヲ掲記スヘシ

但證書中ニハ拂込收入官吏ノ異ナル毎ニ界紙ヲ挿綴シ之ニ其科目金額小林區署名及分任收入官吏ノ官氏名ヲ掲記スヘシ

第三條 分任收入官吏ハ租税外收入證明規程第一條第一號書式ニ準シ收入計算書ヲ調製シ左ノ書類ヲ添へ翌年度八月十五日以内ニ於テ之ヲ主任收入官吏ニ送付スヘシ

一 未收入明細書

本項明細書ハ當該年度ニ於テ收入未済ニ係ルモノアル場合ニ限リ提出スヘキモノニシテ別記第一號書式收入未済額明細書ニ準シテ調製スルモノトス

二 會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ送付セル通知書

本項通知書ハ科目ノ順次ニ編纂シ(各目ハ金庫通知ノ日)表紙ニ總金額各目金額通知書ノ枚數小林區署名及分任收入官吏ノ官氏名ヲ掲記スヘシ

第四條 分任收入官吏ハ租税外收入證明規程第一條第二號書式ニ準シ現金出納計算書ヲ調製シ左ノ書類ヲ添へ翌年度四月三十日以内ニ於テ之ヲ主任收入官吏ニ送付スヘシ

一 現金拂込ニ對シ金庫ヨリ交付セル領收證書

本項證書ハ所屬年度ニ區分シ科目ノ順次ニ編纂シ表紙ニ總金額各目金額證書ノ枚數小林區署名及分任收入官吏ノ官氏名ヲ掲記スヘシ

第五條 主任收入官吏交替ノトキ會計規則第九十九條ニ基キ會計検査院へ證明スヘキ收入計算書及現金出納計算書ニハ現金拂込額ニ對スル金庫領收證書(本手續第二條第一項ニ)ヲ添へ成規ノ期限内(交替後六)ニ於テ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

第六條 分任收入官吏ニ於テ主任收入官吏交替ノ通知ヲ受ケタルトキハ其交替當日迄ニ取扱ヒタル收入金ニ對シ租税外收入證明規程第一條第一號及第二號書式ニ準シ收入計算書及現金出納計算書ヲ調製シ之ニ對スル金庫通知書(本手續第三條第二項ニ)及ヒ金庫領收證書(本手續第四條第一項ニ)ヲ添へ十日以内ニ之ヲ主任收入官吏ニ送付スヘシ

第七條 身元保證金ヲ納付シタル分任收入官吏交替ノトキハ租税外收入證明規程第一條第一號及第二號書式ノ收入計算書及現金出納計算書ヲ調製シ之ニ對スル金庫通知書(本手續第三條第二項ニ)及ヒ金庫領收證書(本手續第四條第一項ニ)ヲ添へ十日以内ニ之ヲ主任收入官吏ニ送付スヘシ

但三月三十一日ニ於テ交替シタルモノ、取扱額若クハ年度經過後(整理期)交替シタルモノ、前年度所屬取扱額ニ對シテハ本條ノ限リニアラス又本條手續ヲ爲スニ當リ在職中ニモ現金ノ

取扱ナキ爲メ現金出納計算書ノ提出ヲ要セサル場合ニ於テハ收入計算書備考ノ區ニ其旨ヲ記載スヘシ

第八條 主任收入官吏ニ於テ本手續第三條第四條第六條ノ計算書類ヲ受ケタルトキハ自身ノ帳簿書類ニ對查シ其正確ヲ認定シ本手續第一條第二條及第五條ノ計算書類ト共ニ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

主任收入官吏ニ於テ本手續第七條ノ計算書類ヲ受ケタルトキハ自身ノ帳簿書類ト對查シ其正確ヲ認定シ受領ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ大林區署長ニ送付スヘシ

第九條 主任收入官吏ニ於テ本手續第二條ノ現金出納計算書ヲ調製スルニ該リ第七條ニ依リ分任收入官吏ヨリ既ニ證明済ノモノアルトキハ該計算書備考ノ區ヘ其金額事由ヲ掲記スヘシ

第十條 大林區署長ハ本手續第四條第六條及第七條ノ現金出納計算書若クハ第七條ノ收入計算書ト帳簿ト對查スル爲メ便宜執行官吏ヲ命シ置キ同官吏ヲ分任收入官吏ヨリ主任收入官吏ヘ送付以前其對查ヲ執行シ符合一致ヲ認メタル保證書ヲ作り之ヲ該計算書ニ添付差出サシムヘシ

第十一條 大林區署長ニ於テ本手續第一條第二條第五條及第八條ノ計算書類ヲ受ケタルトキハ左ノ各項ニ基キ調査ヲ執行シ本手續第一條第五條及第八條第二項ノ收入計算書ニ對シテハ別記第二號書式ノ保證書ヲ作り尙第五條及第八條第二項ノ收入計算書ニ對シテハ租稅外收入證明規程第二條第二項ヨリ測定濟額ノ保證ヲナシ第二條第五條及第八條第二項ノ現金出納計算書ニ對シテハ別記第三號書式ノ保證書ヲ作り別記第四號書式ノ調査書ヲ添付シテ受領ノ日ヨリ五日以内ニ之ヲ山林局長ニ送付スヘシ

一 本手續第一條及第五條ノ收入計算書ハ主任收入官吏ノ收入簿及ヒ本手續第三條若クハ第六條ノ計算書ト對查シ其符合一致ヲ認ムルコト
二 本手續第二條及第五條ノ現金出納計算書ハ主任收入官吏ノ現金出納簿及ヒ本手續第四條

若クハ第六條ノ計算書及ヒ之ニ附屬スル金庫領收證書並ニ現金收入監查簿ト對查シ其符合一致ヲ認ムルコト

三 分任收入官吏ヨリ主任收入官吏ヲ經テ差出シタル計算書類ノ内本手續第四條第六條第七條ノ現金出納計算書及ヒ第七條ノ收入計算書ニ對シテハ前條對查執行官吏ノ作りタル保證書ヲ以テ該計算書ト帳簿トノ符合一致ヲ認ムルコト

四 本手續第一條ノ收入未濟額明細書ハ收入計算書ノ收入未濟額及ヒ本手續第三條第一項ノ未收入明細書並ニ測定原簿ト對查シ未納ニ係ル顛末ヲ審查シテ其正確ヲ認ムルコト

五 前各項計算書類ノ事項及ヒ計數ノ正確ヲ認ムルコト

第十二條 大林區署長ハ本手續第一條第二條第五條及第八條第二項ノ計算書主任收入官吏ハ第七條ノ計算書ノ表紙上部ニ左ノ印ヲ捺捺シ受授ノ年月日ヲ記入スヘシ

長	受	授	日	月	年
署	授	授	日	月	年
區	授	授	日	月	年
林	授	授	日	月	年
大	授	授	日	月	年
某	授	授	日	月	年

官	受	授	日	月	年
主	授	授	日	月	年
任	授	授	日	月	年
收	授	授	日	月	年
入	授	授	日	月	年
某	授	授	日	月	年

第十三條 會計検査院ノ審理書山林局長ノ質問書及ヒ之ニ對スル收入官吏ノ答辯及申報書類ハ總テ大林區署長ヲ經由スヘシ
但第七條ノ計算書ニ關スル本條書類ハ主任收入官吏ヲモ經由スヘシ

(別記)

義務者	場所	細目	金額		
			圓	角	分
何國何郡何村何ノ誰	何國何郡何村何字何々 何等官林	小屋敷地年期貸下	0		
何	々何	何	0		
何	々何	何	0		
			0		
何	々何	何々盜伐賠償金	0		
何	々何	何	0		
			0		
			0		

第一號書式
明治何年度收入計算書付屬 收入未済額明細書
<p>督促額未</p> <p>何々ノ事由ニ依リ滞納ニ付何々(督促ノ額未ヲ詳記スヘシ)</p> <p>何</p> <p>何</p> <p>何々ノ事由ニ依リ何々ノ督促ヲナスト雖モ不納ニ付申訴中(又ハ何々)</p> <p>何</p>
某大林區署

科 目	所屬年度
森林收入	何年度分
地所貸下料	何年度分
目計	何年度分
盜難品賠償金	何年度分
目計	何年度分
合計	

明治何年度收入計算書收入未済額
 明細書面之通相違無之候也
 某大林區署主任收入官吏官氏名印
 會計検査院長宛
 年 月 日

第二號書式

收入計算書ト收入簿ト符合ノ保證

主(分)任收入官吏官 氏

名

前記收入官吏ノ提出シタル別冊收入計算書ノ各項目其他同書所載ノ事項金額トモ總テ收入簿ト對照セシニモ相違ノ件ナシ
 右致保證候也
 年 月 日

第三號書式

現金出納計算書及現金出納簿符合ノ保證

某大林區署長官 氏

名 印

前記收入官吏ノ提出シタル別冊現金出納計算書所載ノ事項金額トモ總テ現金出納簿ト對照セシニモ相違ノ件ナシ
 右致保證候也
 年 月 日

(現金拂込未済額アルトキノ例)

現金出納計算書及現金出納簿符合及現金拂込未済現存額ヲ認メタル保證

某大林區署長官 氏

名 印

前記收入官吏ノ提出シタル別冊現金出納計算書所載ノ事項金額トモ現金出納簿ト對照セシニモ相違ノ件ナク且現金拂込未済現存額トモ總テ正確トス
 右致保證候也
 年 月 日

第四號書式

調査書

收入官吏在勤署名 某大(小)林區署

收入官吏官氏名 官氏名

管 理 期 何年度間(自何年何月何日 至何年何月何日)

事務引繼濟年月日 何年何月何日(取扱手續第五條及第七條ノ)

計 算 書 冊 數 收入(現金出納)計算書 何冊(現金出納計算書ニ限リ本項掲記ヲ要ス)

某大林區署長官 氏

名 印

主(分)任收入官吏官 氏

名

右ハ收入證明書類取扱手續第十條ニ照シ夫々調査ヲ遂ケ許數其他ノ事項トモ總テ正確ナルコトヲ認メ候ニ付別紙保證書相添及御送付候也

年月日

某大林區署長官 氏 名 印

山林局長宛

大林區署

○農商務省訓令第十三號

明治二十六年六月當省訓令第十五號大林區署管内旅費規則中左ノ通改正シ明治二十八年九月一日ヨリ施行ス

農商務大臣子爵榎本武揚

明治二十八年八月二十日

第五條第一項ヘ左ノ但書ヲ加ヘ第二項ヲ左ノ通改ム

但部内ト雖モ赴任旅行ニハ甲號表ノ旅費ヲ支給ス

月額旅費ノ等級ハ大林區署長ニ於テ小林區及ヒ保護區ノ廣狹事務ノ繁閑等ヲ量リ豫メ毎小林區及ヒ毎保護區ニ之ヲ定メ農商務大臣ニ届出ヘシ

第六條第二項ノ末ニ「小林區署部内轉勤ノ場合モ亦同シ」ノ十六字ヲ加ヘ第三項ノ末ニ「小林區署部内兼務ノ場合モ亦同シ」ノ十六字ヲ加フ

第九條第一項ノ但書ヲ左ノ通改ム

但一日ノ行程 現場巡視ニテ經過シ陸路ハ六里以上汽車ハ十哩以上汽船ハ十海里以上ナルトキハ此限ニアラス

甲號表中判任官ノ傍ニ「山林原野調査副査員ヲ除ク」ノ十二字ヲ加ヘ「雇員」ヲ「山林原野調査副査員」ト改ム

乙號表

等級	一	二	三	四	五	六	七
月額金	五圓	四圓	四圓	三圓	三圓	貳圓	貳圓
拾錢	四圓	四圓	三圓	三圓	貳圓	貳圓	貳圓
拾錢	四圓	四圓	三圓	三圓	貳圓	貳圓	貳圓

〔參照〕

農商務省訓令第十五號大林區署管内旅費規則(明治二十六年六月八日)抄録

第五條 小林區署員小林區署部内ノ旅行ニハ乙號表ノ月額旅費ヲ支給ス

月額旅費ハ小林區署部内分擔區域ノ廣狹事務ノ繁閑ヲ量リ乙號表ノ等級内ニ於テ大林區署長豫メ毎小林區署ノ等級ヲ定メ農商務大臣ニ届出ヘシ

第六條第二項

甲小林區署ヨリ乙小林區署ヘ轉勤ノトキ當月分ノ月額旅費ハ多キ方ヲ支給ス

同條第三項

甲小林區署員乙小林區署ヲ兼務シタルトキ其月額旅費ハ多キ方ヲ支給ス

第九條第一項

大林區署員山林原野調査費ノ支辨ニ關スル事業ノ爲メ旅行シタルトキハ甲號表ノ日當ノミヲ支給ス

但大林區署ヨリ御用著手ノ地マテ御用濟ノ地ヨリ大林區署ヘ歸著マテ及甲地ノ御用ヲ終ヘ乙地ヘ移ルノ行程陸路ハ六里以上汽車ハ十哩以上汽船ハ十海里以上ナルトキハ此限ニアラス

甲號表

等級	汽車賃	汽船賃	車馬賃	日當
一哩毎ニ	一海里毎ニ	一里毎ニ	一日毎ニ	
三 等 判 任 官	金 三 錢	金 三 錢	金 八 錢	金 六 拾 錢
四 等 雇 員	金 貳 錢	金 貳 錢	金 七 錢	金 四 拾 錢

乙號表

等級	一	二	三	四	五
月額金	四圓	三圓五拾錢	三圓	貳圓五拾錢	貳圓

○内務省訓令第十五號
官國幣社神職試驗規則左ノ通改定ス

北海道廳 府縣

明治二十八年九月九日

内務大臣子爵野村 靖

官國幣社神職試驗規則

- 第一條 官司權官司ハ高等試驗合格ノ者爾宜主典ハ尋常試驗合格ノ者ヲ以テ之ニ補ス
- 第二條 年齡滿二十年以上ノ男子ニシテ左ノ諸項ノ一ニ該當セサル者ハ神職試驗ヲ受クルコトヲ得
 - 一 重罪輕罪ヲ犯シタル者
 - 二 破産若クハ家資分産ノ宣告ヲ受ケ復權シ又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者
- 第三條 高等試驗ハ内務省ニ委員ヲ置キ之ヲ施行ス尋常試驗ハ各地方廳ニ委員ヲ置キ施行スルモノトス
- 第四條 高等試驗合格者ニハ内務省ヨリ尋常試驗合格者ニハ地方廳ヨリ合格證書ヲ付與スヘシ
- 第五條 試驗ヲ施行スルトキハ豫メ其試驗期日及ヒ場所等ハ其時々官報又ハ新聞紙其他便宜ノ方
法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ
- 第六條 試驗ハ左ノ科目ニ依リ之ヲ行フ

高等試驗科目

六國史 口述 筆答

令義解 同上

延喜式 同上

萬葉集 同上

法曹至要抄 同上

現行神社法令 筆答

作文 宣命體 公文體

算術

尋常試驗科目

古事記 口述

土佐日記 同上

職原抄 同上

祝詞式 同上

現行神社法令 筆答

作文 祝詞
公文體

算術

第七條 試驗ニ關スル細則ハ委員之ヲ定メ内務大臣ニ報告スヘシ

第八條 尋常試驗問題ハ試驗施行前豫メ内務大臣ノ認可ヲ經ヘシ

第九條 左ニ掲クル者ハ試驗ヲ要セス試驗委員ノ銓衡ヲ經テ宮司權宮司ニ補スルコトヲ得

一 維新前十代以上其神社ニ奉仕セシ重立タル神職ニシテ維新後引續キ奉仕セシ者ノ相續人

二 其神社祭神ノ一族臣下ノ内祭神在世ニ於テ功蹟顯著史乘ニ著名ナル者ノ相續人

三 滿五年以上判任官五級俸以上奉職セシ者

四 神宮權禰宜以上在職ノ者

五 舊教導職權少教正(神道ノ分)以上ニ補セラレシ者

六 滿十年以上禰宜ヲ奉職シ其功勞顯著ナル者

七 神宮皇學館本科卒業ノ者

八 皇典講究所學階學正ヲ有スル者

第十條 左ニ掲クル者ハ試驗ヲ要セス試驗委員ノ銓衡ヲ經テ禰宜主典宮掌ニ補スルコトヲ得

一 維新前五代以上其神社ニ奉仕セシ神職ニシテ維新後引續キ奉仕セシ者ノ相續人

二 滿五年以上判任官以上在職ノ者

三 神宮々掌以上在職ノ者

四 舊教導職權大講義(神道ノ分)以上ニ補セラレシ者

五 神宮皇學館本科及ヒ專科卒業ノ者

六 皇典講究所學階三等司業以上ヲ有スル者

第十一條 滿五年以上官國幣社神職ヲ勤メ退職シタル者ハ試驗ヲ要セス前職同等若クハ其以下ノ

神職ニ補スルコトヲ得

第十二條 滿五年以上雇員トシテ同一神社ニ奉職シタル者ハ試驗委員ノ銓衡ヲ經テ直ニ其神社ノ

主典宮掌ニ補スルコトヲ得

附則

第十三條 此規則施行前ヨリ現ニ官國幣社ノ神職タル者ハ引續キ其職ニ在ルコトヲ得

第十四條 此規則ハ官幣小社波上宮別格官幣社靖國神社ニ限り之ヲ施行セス

○大藏省訓令第二十六號

明治二十八年三月當省訓令第六號明治二十八年年度當省所管歲入科目中歲入經常部雜收入ノ款雜入ノ

項中末位ニ輸出酒類戻稅還納金ノ一目ヲ追加ス

明治二十八年九月十四日

大藏大臣子爵渡邊國武

○遞信省訓令第三號

本年當省訓令第一號船燈信號器及救命具試驗檢定及監査手續第九條中左ノ通改正追加ス

明治二十八年九月十四日

遞信大臣子爵渡邊國武

同條第二項檢定官吏ノ官氏名ヲ「廳名」ト改ム

〔參照〕

遞信省訓令第一號船燈信號器及救命具試驗檢定及監査手續明治二十八年四月二十七日抄錄

第九條 第八條ニ依リ檢印ヲ附スルトキハ船燈、機械製標中號角及救命燈ニハ極印ヲ押捺シ空中ニ高響及星火ヲ發スル櫓

彈、火筒、紅光燈管及燈管ニハ紙札ヲ貼附シ救命浮環及救命浮帶ニハ朱肉印又ハ黒肉印ヲ押捺スヘシ

前項ノ極印、紙札及朱肉印又ハ黒肉印ニハ檢定官吏ノ官氏名ヲ記スヘシ

明治二十八年九月 訓令 大藏省第二十六號 遞信省第三號

廳府縣ヲ除ク

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

船泊司檢所

○內務省訓令第十六號

社司社掌試驗規則左ノ通相定ム

明治二十八年九月二十日

內務大臣子爵野村 靖

社司社掌試驗規則

第一條 地方廳ニ社司社掌試驗委員長一名及社司社掌試驗委員五名ヲ置キ社司社掌ノ試驗ヲ行ハ

第二條 社司社掌試驗委員長及社司社掌試驗委員ハ北海道廳長官府縣知事之ヲ選任スヘシ

第三條 社司社掌試驗委員ハ此規則ニ依リ試驗ヲ施行シ試驗委員長ヨリ其成績ヲ北海道廳長官府

縣知事ニ具申スヘシ

第四條 北海道廳長官府縣知事ハ前條ノ具申ニ依リ合格ト認ムル者ニ合格證書ヲ付與スヘシ

第五條 年齡滿二十年以上ノ男子ニシテ左ノ諸項ノ一ニ該當セサル者ハ社司社掌試驗ヲ受ケルコ

トヲ得

一 重罪輕罪ヲ犯シタル者

二 破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セス又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル

者

第六條 試驗ヲ施行スルトキハ豫メ其試驗期日及場所等ハ其時々官報又ハ新聞紙其他便宜ノ方法

ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第七條 社司ノ試驗科目左ノ如シ

古事記口述筆答

祝詞式同上

現行神社法令筆答

職原抄同上

作文祝詞體公文體

算術四則

第八條 社掌ノ試驗科目左ノ如シ

古事記上卷口述筆答

作文祝詞體公文體

算術四則

祝詞式同上

現行神社法令筆答

第九條 試驗問題ハ社司社掌試驗委員之ヲ定メ社司社掌試驗委員長ヨリ北海道廳長官府縣知事ノ

認可ヲ受クヘシ

第十條 此規則施行ニ必要ナル細則ハ北海道廳長官府縣知事之ヲ定メ內務大臣ニ報告スヘシ

○大藏省訓令第二十七號

明治二十八年三月當省訓令第六號明治二十八年度當省所管歲入科目中歲入經常部官業及官有財産收入ノ款官有物貸下料ノ項中末位ニ居留地糶貸料ノ一目ヲ追加ス

明治二十八年十月一日

大藏大臣子爵渡邊國武

府縣

○農商務省訓令第十四號

漁業取締及漁業組合規則其他水産動植物ノ蕃殖保護等ニ關スル命令ハ自今本大臣へ經伺ノ上施行スヘシ

但從前發布ニ係ル命令ノ改正又ハ廢止ヲナサントスルトキモ本文ニ準スヘシ

明治二十八年十月二十三日

農商務大臣子爵榎本武揚

北海道廳 府縣

○文部省訓令第三號

學事年報取調條項及諸表様式別冊ノ通改定ス

明治二十五年文部省訓令第九號ハ廢止ス

明治二十八年十月二十六日

文部大臣侯爵西園寺公望

(別冊)

學事年報取調條項

一管内學事ノ狀況

學事施設ノ要領及學事ノ現狀ヲ概記スヘシ

一學齡兒童

就學ニ關スル規則施行ノ狀況及表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一小學校

公立學校ノ校數位置設備等適否ノ狀況、修業年限學級編制ニ關スル狀況、私立學校ノ代用補習科專修科ノ狀況、生徒學業ノ進否、學校衛生ノ狀況、教員ノ需用供給及待遇ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 徒弟學校
 一 實業補習學校
 一 盲啞學校
 學科ノ適否、授業ノ狀況、生徒學業ノ進否、生徒卒業後ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 幼稚園
 保姆ノ資格、保育ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 尋常師範學校
 學校ノ設備、生徒養成ノ狀況、生徒學業ノ進否、入學者ノ數、中途退學者ニ關スル狀況、生徒ノ健康ニ關スル狀況、生徒卒業後ノ狀況、附屬小學校及豫備科簡易科講習科等ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 尋常中學校
 學校ノ設備、生徒養成ノ狀況、生徒學業ノ進否、入學者ノ數、中途退學者ニ關スル狀況、生徒ノ健康ニ關スル狀況、生徒卒業後ノ狀況、實科專修科ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 高等女學校
 學校ノ設備、生徒養成及修業年限ニ關スル狀況、生徒學業ノ進否、入學者ノ數、中途退學者ニ關スル狀況、生徒ノ健康ニ關スル狀況、生徒卒業後ノ狀況、技藝專修科補習科ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 專門學校
 學校ノ設備、教員ノ資格、入學者ノ資格、授業ノ狀況、生徒學業ノ進否、卒業後ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 技藝學校
 學校ノ設備、教員ノ資格、授業ノ狀況、生徒學業ノ進否、卒業後ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 各種學校
 學校ノ設備、教員ノ資格、授業ノ狀況、生徒學業ノ進否、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 圖書館
 圖書ノ種類、冊數、利用者ノ數、閲覧人ノ狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 教科用圖書
 教科用圖書ノ適否、需用供給ノ關係、其他教科用圖書ニ係ル狀況ヲ記述スヘシ

一 府縣會郡會及市町村會
 學事ニ係ル議事ノ梗概ヲ記述スヘシ

一 教育會
 組織並事業ノ梗概ヲ記述スヘシ

一 學事關係職員
 學務官吏、學務擔任郡吏、郡視學、市町村長、學務委員等總テ關係職員ノ事務ヲ措辦スル狀況等ヲ記述シ、及學務官吏等級別人員ヲ附記スヘシ

一 學事巡視及獎勵
 學務官吏等巡視ノ狀況、及教員生徒等獎勵ノ要領ヲ記述スヘシ

一 將來學事施設上須要ノ件
 一 其他學事ニ付特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
 右諸項ハ曆年末ノ調査ニ依リ翌年三月三十一日限申報スヘシ

一 公學費及資產
 公立學校等經費ノ要領、授業料徴收ノ方法、寄附金等ノ狀況、學校基本財産積立ノ方法等總テ學校維持及經濟上ノ得失ニ係ル狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 公立學校職員恩給
 公立學校職員退職料等殊ニ府縣知事、郡長、市町村長ニ於テ定ムル退職料等ニ關スル狀況、其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由等ヲ記述スヘシ

一 其他學事經濟上ニ付特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
 右諸項ハ會計年度末ノ調査ニ依リ翌年度八月三十一日限申報スヘシ

明治 年 管内學事年報甲號表

種別	一 最多學級ヲ有スル學校ノ學級數		二 裁縫手工ヲ加フル公立小學校表	
	私立	公立	私立	公立
裁縫ヲ加フル學校				
裁縫手工ヲ加フル學校				
手工ヲ加フル學校				
農業ヲ加フル學校				
商業ヲ加フル學校				
手工農業ヲ加フル學校				
手工商業ヲ加フル學校				
農業商業ヲ加フル學校				
手工農業商業ヲ加フル學校				
合計				

種別	三 公立小學校教員俸給別表		合計	
	私立	公立	私立	公立
月俸別	五圓未満			
	五圓以上未滿			
	十圓以上未滿			
	十五圓以上未滿			
	二十圓以上未滿			
	二十五圓以上未滿			
	三十圓以上未滿			
	三十五圓以上未滿			
	四十圓以上未滿			
	四十五圓以上未滿			
	五十圓以上未滿			
	合計			

七 小學校教員檢定表

種別	一年未滿		滿一年以上		滿五年以上		滿十年以上		滿十五年以上		合計		俸給年額總計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
	正教員		正教員		正教員		正教員		正教員		正教員		正教員	
市町村立小學校														
市立小學校														
町立小學校														
府立小學校														
公立小學校														
公立高等女學校														
公立專門學校														
公立技藝學校														
其他公立小學校														
合計														

八 郡視學及學務委員表

種別	合計		專任者		兼任者		合計	
	女	男	女	男	女	男	女	男
	正教員		正教員		正教員		正教員	
市町村立小學校								
市立小學校								
町立小學校								
府立小學校								
公立小學校								
公立高等女學校								
公立專門學校								
公立技藝學校								
其他公立小學校								
合計								

明治二十八年 管内學事年報丙號表

一 公立諸學校ヲ除ク表

名稱	府縣市町立 立之區別	位置 市區町村	創立 年	修業 年限	教員		生徒		卒業生		一箇年 總額	一箇年 總額	一箇年 總額	氏名
					內國人	外國人	男	女	男	女				
名稱														
位置														
創立														
修業														
教員														
生徒														
卒業生														
一箇年														
總額														
一箇年														
總額														
一箇年														
總額														
氏名														

二 公立幼稚園表

名稱	府縣市町立 立之區別	位置 市區町村	創立 年	和漢 洋書	開館 日數	入閱 人員	一箇年 總額	一箇年 總額	一箇年 總額	氏名
名稱										
位置										
創立										
和漢										
洋書										
開館										
日數										
入閱										
人員										
一箇年										
總額										
一箇年										
總額										
一箇年										
總額										
氏名										

三 公立圖書館表

右甲號乙號丙號表ハ曆年末ノ調査ニ依リ翌年三月三十一日限り差出スヘシ
明治二十八年 管内學事年報丁號表

一 公學費表

種別	小學校	高等學校	師範學校	職業學校	專門學校	其他	合計	校長俸給	書記俸給	准教員俸給	准教員俸給	保母俸給	諸給料
種別													
小學校													
高等學校													
師範學校													
職業學校													
專門學校													
其他													
合計													
校長俸給													
書記俸給													
准教員俸給													
准教員俸給													
保母俸給													
諸給料													

四 市町村立小學校教員恩給基金及恩給ニ關スル收入支出表

種別	金額		種別	金額		人員
	金	額		金	額	
市町村納金			恩給			
市町村立小學校教員納金			退隱料			
前年度繰入剩餘金			扶助料			
計			扶助金			
前年度未現在高			退職給與金			
計			一時給養金			
公債借入金			合			
恩給基金利息			計			
國庫補助金						
府縣補助金						
其他収入金						
前年度繰入剩餘金						
計						
収入			支出			
合			計			

五 府縣立師範學校公立中學校職員恩給ニ關スル國庫納金及公費支出表

種別	金額		種別	金額	
	金	額		金	額
府縣納金			退職給與金		
町村納金			合		
計			計		
公立中學校					
府縣立師範學校					
計					
納金					
合					
計					

右丁號表ハ會計年度末ノ調査ニ依リ翌年度八月三十一日限リ差出スヘシ
學事年報諸表様式說明

甲號表

一 第一學事統計表

學齡人員

學齡人員ハ本籍ト寄留トヲ問ハズ總テ年末ニ於ケル現住人ノ内年齢六歳一月ヨリ滿十四歳マテノ兒童ノ數ヲ掲クヘシ但年齡八月ヲ以テ計算ス

就學義務ノ既ニ生シタル者ハ學齡人員ノ内其年學年ノ初月ニ於テ六歳一月以上ノ年齢ニ在ル兒童ノ數ヲ掲クヘシ
現在尋常小學校就學ハ現ニ尋常小學校ノ教科ヲ修メル者ノ年未現員ヲ掲クヘシ
現在不就學ハ未タ尋常小學校ノ教科ヲ卒業ス半途ニシテ就學ヲ止メ現ニ就學セサル者ヲ掲クヘシ又學籍ニ在ルモ年内全ク出席セサル者ハ茲ニ計入スヘシ

未就學ハ就學義務ノ生シタル以來未タ全ク就學セサル者ヲ掲クヘシ
就學義務ノ未タ生セサル者ハ學齡人員ノ内其年學年ノ初月ニ於テ未タ六歳一月ノ年齢ニ達セサル兒童ノ數ヲ掲クヘシ
歩合ノ計算ハ單位以下二位ニ止メ四捨五入スヘシ

小學校

學校ハ年末現在ノ數ヲ掲ケ分校ハ分校ノ數ヲ掲ケ以下ニ列シ但分校ノ數ニアルトキハ尋常若クハ高等ノ全科ヲ設クルモノト其一部ヲ設クルモノトヲ區別シ適宜ノ符號ヲ以テ掲クヘシ又補習科專修科ヲ設クルモノハ(補)又ハ(專)ノ符號ヲ以テ之ヲ示スヘシ

教員ハ年末ノ在職人員ヲ掲ケ其尋常高等併置學校ノ教員ニシテ受持兩科ニ涉ル者ハ受持時間ノ多キ方ニ掲ケ其時間數同シキトキハ高等ノ方ニ掲クヘシ公立學校教員ニシテ他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者ハ其兼務ノ方ハ朱書ヲ以テ掲クヘシ又准教員ニシテ一時正教員ニ代動セル者ハ准教員ノ欄ニ記入シ其他准教員ヲ使用スルモノアルトキハ准教員ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲クヘシ

生徒ハ學籍ニ在ルモ年内全ク出席セサル者ヲ除キ年未現員ヲ掲クヘシ
入學生ハ年内ニ於テ第一學年ニ入學シタル者ノ總數ヲ掲クヘシ
卒業生ハ年内ニ於テ卒業シタル者ノ總數ヲ掲クヘシ
日々出席生徒平均數ハ年内ニ於ケル日々ノ出席生徒數ヲ通算シ年内ニ於ケル投票ノ總日數ヲ以テ除シタル數ヲ掲クヘシ但補習科專修科ニ係ルモノハ計入セス又計算ハ單位以下二位ニ止メ四捨五入スヘシ

日々缺席生徒平均數ハ年内ニ於ケル日々ノ缺席生徒數ヲ通算シ年内ニ於ケル授業ノ總日數ヲ以テ除シタル數ヲ掲クヘシ但補習科專修科ニ係ルモノハ計入セス又計算ハ單位以下二位ニ止メ四捨五入スヘシ

徒弟學校

實業補習學校

學校教員、生徒、入學生、卒業生等總テ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ但教員ハ徒弟學校規程第十條實業補習學校規程第十一條ニ依ラサルモノアルトキハ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲クヘシ又農工商業中ニ科以上ヲ一校ニ併置シタル等ノ場合ニ在テハ主タル一方ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ掲クヘシ

盲啞學校

學校教員、生徒、卒業生ハ總テ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ但生徒中普通及技藝ノ兩科ヲ修ムル者ハ主タル一方ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シテ掲クヘシ卒業生モ亦之ニ同シ

幼稚園

園保母、幼兒保育、保育期ハ小學校ノ例ニ準シテ掲ク助手ノ類ヲ使用スルモノアルトキハ保母ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲クヘシ又幼稚園ハ幼稚園トシテ計入スヘシ

右第一學事統計表ハ全管内ニ係ルモノ、外更ニ市ニ係ルモノヲ調製シ國名ノ部ニ市名ヲ記シ各市ニ區別シテ掲クヘシ

第二學事統計表

尋常師範學校

教員ハ年末ノ在職人員ヲ掲ク其准教員ハ教諭助教諭ニアラサル教員ヲ掲ク又准教員中専ラ附屬小學校ヲ授業ヲ擔當スル者アルトキハ本校ニ計入セスシテ附屬小學校教員ノ部ニ掲クヘシ又教員中其學校者クハ他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者アルトキハ其數ハ朱書ヲ以テ掲クヘシ

生徒ハ入學生、卒業生ハ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ
入學志願者ハ年内ニ於ケル第一學年入學出願者ノ總數ヲ掲クヘシ
附屬小學校教員、生徒、入學生、卒業生、日々出席生徒平均數、日々缺席生徒平均數ハ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ但教員中本校又ハ他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者アルトキハ本校ノ例ニ準シテ掲クヘシ
附屬幼稚園ハ第一學事統計表幼稚園ノ例ニ準シテ掲クヘシ

尋常中學校

學校、生徒、入學生、卒業生ハ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ
私立學校ニ就キテハ免狀ヲ有スル者ヲ掲クヘク准教員ハ總テ其他ノ教員ヲ掲クヘシ但公立學校教員中他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者アルトキハ尋常師範學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ

高等女學校

學校、生徒、入學生、卒業生ハ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ
尋常師範學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ

專門學校

專門學校ハ醫學、藥學、政治學、法律學、經濟學、文學、農學、林學、理學、物理化學、博物學、地質學、天文学、及他ノ學科ニ關シテハ免狀ヲ有スル者ヲ掲クヘク准教員ハ總テ其他ノ教員ヲ掲クヘシ但公立學校教員中他ノ公立學校教員ヨリ兼ヌル者アルトキハ尋常師範學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ

技藝學校

學校、生徒、卒業生ハ小學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ
專門學校ノ例ニ準シテ掲クヘシ

各種學校

小學校ニ類スル各種學校ハ學校ノ目的及學科程度等略々小學校ニ準スヘキモノ尋常中學校ニ類スル各種學校ハ學校ノ目的及學科程度等略々尋常中學校又ハ高等女學校ニ準スヘキモノ女子學校ハ適宜ノ符號ヲ掲クヘシ又ハ高等女學校ニモ類セス又專門學校技藝學校等ニモアラサル學校ヲ掲クヘシ

圖書館

圖書館、圖書冊數ハ年末ノ現在數ヲ掲ク開館日數、閱覽人員ハ年内ニ於ケル總日數及總人員ヲ掲クヘシ
學校等ニ附屬スル圖書館ト雖モ公衆ノ閱覽ヲ許スモノハ總テ之ヲ計入スヘシ

乙號表

一 學級別公私立小學校表

本表中尋常高等併置小學校ハ其全校ノ學級數ニ依リテ掲ク更ニ之ヲ尋常高等ニ分チ尋常小學校高等小學校ノ部ニモ朱書ヲ以テ掲クヘシ
十學級以上ノ學校ノ欄ニハ二十學級未満ノモノヲ掲ク二十學級以上ノモノハ十學級毎ニ區別シテ空欄ノ部ニ掲記スヘシ

分校ニ係ルモノハ本校ニ合算スヘシ又補習科專修科ニ係ルモノ及尋常師範學校附屬小學校ニ係ルモノハ計入セス

二 裁縫、手工、ヲ加フル公私立小學校表

本表ハ尋常小學校及高等小學校ノ部ニハ尋常高等併置小學校ニ係ルモノモ尋常高等ニ分チテ掲ケ又裁縫ヲ加フル學校及裁縫手工ヲ加フル學校ハ尋常小學校ニ限リ掲ケヘシ又尋常師範學校附屬小學校ニ係ルモノハ計入セス

三 公立小學校教員俸給別表

月俸別ノ欄ニハ年末ノ現員ニ就キテ之ヲ掲ケヘシ
最多月額、最多月額ハ年末ニ於ケル各教員ノ月俸中最多額及最算額ヲ掲ケ其平均額ハ年末ニ於ケル各教員ニ對スル月俸ノ總額ヲ其教員數ヲ以テ除シタル額ヲ掲ケヘシ
雇員ニ係ルモノハ月俸別ノ欄ニハ進級ノ部ニ於テ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲ケ最多月額以下ノ欄ニハ計入セス又尋常師範學校附屬小學校ノ教員ニ係ルモノハ總テ計入セス

四 公立小學校生徒授業料月額並不徴收及免除表

授業料最多月額、最算月額ハ前表ノ例ニ準シ其平均額ハ年末ニ於ケル各生徒ノ授業料月額總計ヲ其生徒數ヲ以テ除シタル額ヲ掲ケヘシ但一部免除ノ者ノ授業料モ計入スヘシ
授業料不徴收學校ノ部ニハ學校生徒ノ全員又ハ或等級ノ生徒ノ授業料ヲ徴收セサル學校數ヲ掲ケ生徒ノ部ニハ同上授業料ヲ徴收セラルナル生徒ノ年末現員ヲ掲ケヘシ
授業料免除生徒ハ兒童保護者貧窮ノ爲授業料ヲ免除セラレタル生徒ノ年末現員ヲ掲ケヘシ
本表ハ尋常師範學校附屬小學校ニ係ルモノハ計入セス

五 公立小學校教員年額別表

本表中師範學校卒業生ハ尋常師範學校卒業生ハ勿論其他曾テ師範學校ヲ卒業シタル者ヲ掲ケヘシ但雇員ハ計入セス
在職年數ハ現職非職休職ニ拘ハラズ年末ニ於ケル當該學校所屬職員ニ就キ明治二十五年勅令第十七號同第十八號ノ例ニ依リ計算シテ掲ケヘシ
徒弟學校、實業補習學校、專門學校、技藝學校及其他ノ公立學校ノ正教員ハ小學校師範學校中學校等ノ例ニ準シ教諭助教諭訓導ノ職ニアル者ヲ掲ケヘシ
俸給年額總計ハ年末ニ於ケル各職員ノ俸給月額ヲ一箇年ニ積算シタル額ヲ掲ケヘシ但非職休職者ニ係ルモノハ其在職最終ノ月ニ於ケル俸給額ヲ積算シテ計入スヘシ

七 小學校教員核定表

本表ニハ尋常師範學校本科簡易科卒業者ニシテ檢定ヲ經タル者ノ數ハ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲ケヘシ
免許狀有效年限延期者ハ其免許狀ノ效力ニ依リ相當ノ欄ニ掲ケヘシ
本表ハ年末ニ於ケル在職人員ヲ掲ケヘシ

八 郡視學及學務委員表

本表ハ年末ニ於ケル在職人員ヲ掲ケヘシ

丙 號表

一 公私立諸學校 小學校表

本表ハ各校各別ニ掲ケルモノトシ一學校ニシテ本校、分校、附屬學校等ノ區分アルモノハ亦各別ニ掲ケヘシ
學科ハ尋常師範學校、尋常中學校、專門學校、技藝學校等ニ在リテ二種以上ノ學科課程ノ設ケアルモノハ各別ニ之ヲ掲ケヘシ
又各種學校ニ在リテハ其授クル學科目ヲ列記スヘシ但五科目以上ヲ授クルモノハ其重モナル五科目ヲ掲ケ其他ハ外幾科目ト付記スヘシ
教員、生徒、卒業生ハ甲號表ノ例ニ準シテ掲ケヘシ但教員中外國人ハ其國名ヲ付記スヘシ
授業料及經費ハ私立學校ニ係ルモノ、ミヲ掲ケ公立學校ニ係ルモノハ會計年度ニ依リ別ニ公學費ノ調査アルヲ以テ之ヲ掲ケルヲ要セス
學校長ノ欄ニハ學校長ヲ置カサル學校ニ就キテハ首席教員ヲ掲ケ適宜ノ符號ヲ以テ學校長ト區別スヘシ

二 公私立幼稚園表

幼稚園ハ年末現在ノ幼稚園ヲ掲ケ尋常師範學校其他小學校等ノ附屬幼稚園並ニ幼稚科ヲモ總テ之ヲ掲ケヘシ但附屬幼稚園並ニ幼稚科ニシテ其名稱ニ依リ他ノ幼稚園トノ區別ヲ知り難キモノハ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲ケヘシ
保育料及經費ハ前表ノ例ニ準シ私立ニ係ルモノ、ミヲ掲ケヘシ

三 公私立圖書館表

圖書館及圖書ハ年末現在ニ依リ之ヲ掲ケ學校等ニ附屬スル圖書館ト雖モ公衆ノ閱覽ヲ許スモノハ總テ之ヲ掲ケヘシ但附屬圖書館ニシテ其名稱ニ依リ他ノ圖書館トノ區別ヲ知り難キモノハ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲ケヘシ
閱覽料及經費ハ公私立諸學校表ノ例ニ準シ私立ニ係ルモノ、ミヲ掲ケヘシ

丁 號表

一 公學費表

本表ハ府縣、市、町村ノ四表ニ分チテ掲ケルモノトシ表題ニ府縣若クハ郡若クハ市若クハ町村ト記入スヘシ但市ハ各市ニ區別シテ掲ケヘシ
學校、幼稚園、圖書館等ニシテ他ノ學校ノ附屬ニ係ルモノハ總テ之ヲ本校ノ部ニ計入スヘシ

圖書館ノ下(其他)ノ部ニハ教員檢定、圖書審査、教員講習、郡視學、學務委員ニ關スルモノ、如キ學校、幼稚園、圖書館ノ各部ニ屬セサルモノヲ掲ケ且此部ノ費額ハ表末ノ餘白ニ於テ別ニ其種類ヲ分チ各總額ヲ列記スヘシ

學校長俸給以下諸費目ハ年度内ニ於テ支出シタル總額ヲ掲ケ其收入ノ諸目モ年度内ニ於テ收入シタル總額ヲ掲ケヘシ

保母俸給ニハ保母俸給ト助手ノ類ノ給料トヲ區別シテ掲ケヘシ

諸給料ハ事務員、手工、農業等ニ關スル職工、農夫及小使、門番等ノ給料ヲ掲ケヘシ又郡視學ノ俸給モ本欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲ケヘシ

旅費ノ内郡視學ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ以テ區別シテ掲ケヘシ

雜給ハ臨時使役ノ人夫賃等ヲ掲ケヘシ

生徒給費ハ生徒ニ給シタル學費金額ヲ掲ケヘシ貸費金額モ區別シテ本欄ニ掲ケヘシ

圖書器械標本費ノ内器械標本費ハ教授用ノ器械標本ノ費額ヲ掲ケヘシ

器具費ハ前項ノ器械標本ニ屬セサル雜品器具ノ費額ヲ掲ケヘシ

消耗品費ハ筆、紙、墨、炭、油及教授用ノ藥品材料等ノ費額ヲ掲ケヘシ

新營費ノ内ニハ敷地買入代ヲモ計入スヘシ

其他ノ諸費ハ前種別ノ欄ニ入ラサル總テノ費額ヲ掲ケ恩給ニ關スル府縣郡市町村ノ納金モ亦茲ニ計入スヘシ

收入ノ部ニハ米穀又ハ其他ノ物品等ニシテ金額ニ換算シテ決算シタルモノハ總テ之ヲ計入スヘシ

金員ノ計算ハ四捨五入シテ圓位ニ止ムヘシ

二 公學資產表

本表ハ前表ノ例ニ準シ府縣郡市町村ノ四表ニ分チ市ハ各市ニ區別シテ掲ケ又附屬學校等ニ係ルモノモ同表ニ準シテ掲ケヘシ

幼稚園ノ下(其他)トアルモノ亦同シ

敷地、附屬地及家屋坪數ハ年度末ニ於ケル各坪數ヲ掲ケ其家屋ノ二階三階等ノ坪數ハ平家坪數ニ合算シテ掲ケヘシ

土地、家屋、圖書、器械標本、器具ノ價額ハ年度末ニ於ケル時價ヲ調査シテ掲ケヘシ

學校基本財産中前種別ノモノト重複スルモノハ適宜ノ符號ヲ以テ其額ヲ示スヘシ又金額ノ内ニハ公債證書其他ノ有價證券モ其時價ヲ以テ計入スヘシ

金員及坪數ノ計算ハ四捨五入シテ圓位坪止ムヘシ

三 公立諸學校、幼稚園、圖書館經費表

本表ハ前表ノ例ニ準シ各校園各別ニ掲ケルモノトシ其收入ニ關スルモノハ公學費表ノ例ニ準シテ掲ケヘシ

金員ノ計算ハ四捨五入シテ圓位ニ止ムヘシ

四 市町村立小學校教員恩給基金及恩給ニ關スル收入支出表

恩給基金前年度未現在高公債證書ノ欄ニハ公債證書ヲ購入シタル金額ヲ掲ケヘシ但朱書ヲ以テ券面ノ金額ヲ附記スヘシ

キ其金額ヲ掲ケヘシ

同基金前年度未現在高公債證書ノ欄ニハ公債證書ヲ購入シタル金額ヲ掲ケヘシ但朱書ヲ以テ券面ノ金額ヲ附記スヘシ

恩給ニ關スル收入恩給基金利息ノ欄ニハ公債利息及預金利息ヲ合セテ掲ケヘシ

同收入前年度未現在高公債證書ノ欄ニハ前年度ノ收入剩餘金ヲ基金ニ組入レシテ翌年度ノ支出ニ充ツヘキ目的ヲ以テ收入ノマ、繰越シタル金額ヲ掲ケヘシ

恩給ニ關スル支出中退職料、扶助料ノ欄ニハ年度内ニ於テ新ニ支給ヲ始メタルモノト前年度以前ヨリ引續キ支給セルモノトヲ別ニハス總テ合算シタル金額及其人員ヲ掲ケヘシ但職務ノ爲傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルモノニ係ル金額及其人員ヲ區別シテ朱書ヲ以テ掲ケヘシ

同支出中一時給養金ノ欄ニハ明治二十三年法律第九十一條第二項ニ依リ支給シタル金額及其人員ヲ掲ケヘシ

五 府縣立師範學校公立中學校職員恩給ニ關スル國庫納金及公費支出表

公費支出ノ欄ニハ明治二十三年法律第九十一條第十條第四項ニ依リ學校所屬府縣郡市町村ノ支出シタル金額及其人員ヲ掲ケヘシ

〔參照〕

明治二十五年七月 文部省訓令第九號ハ公立學校職員在職年數及年齡表並ニ同罷免者在職年數表調製差出方ノ件ナリ

○文部省訓令第四號 北海道廳 府縣

明治二十五年文部省訓令第三號中「及前年度決算等」ノ七字及其表式ヲ削除ス

文部大臣侯爵西園寺公望

〔參照〕

文部省訓令第三號(明治二十五年四月五日)抄録

明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法ニ依レル小學校教員恩給ニ關スル翌年度決算及前年度決算等ハ左ノ表式ニ依リ毎年一月三十一日限本大臣ニ報告スヘシ(表式略ス)

○內務省訓令第十七號

看守採用規則中改正ノ件左ノ通相心得ヘシ

應府縣 東京府 集治監

第一條ヲ左ノ通改ム

看守ハ試験ノ上採用スヘキモノトス但左ニ記載スル者ハ此ノ限ニアラス

- 一 曾テ看守長看守副長又ハ陸海軍監獄看守長ノ職ヲ奉シタル者
 - 二 看守精勤證書ヲ有スル者
 - 三 陸海軍現役滿期下士以上ノ者
 - 四 陸軍兵卒ニシテ現役滿期トナリ又ハ戰時召集ヲ解除セラレ下士適任證書ヲ有スル者
- 第二條第三號中(若クハ自己ノ便宜ニ依リ看守ヲ辭職シ)ノ十七字ヲ削ル
- 第七條中(試験ノ上)ノ四字ヲ削リ同條宣告事項第三項中(從事シ)ノ下ニ(五箇年未滿ニシテ)ノ八字ヲ加フ

明治二十八年十月二十九日

内務大臣子爵野村 靖

〔参照〕

内務省訓令第二十六號看守採用規則(明治二十六年十二月十九日)抄録

- 第一條 看守ハ必ス試験ノ上採用スヘキモノトス但看守精勤證書ヲ有スル者並ニ曾テ看守長タリシ者ニシテ看守ヲ志願スル者ハ此限ニアラス
- 第二條 看守志願者ハ品行方正年齢二十一年以上四十年未滿ニシテ徵兵ニ相當セス且ツ左ノ諸項ニ抵觸セサルモノタルハシ
- 三 看守巡查懲罰例又ハ官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ若クハ自己ノ便宜ニ依リ看守ヲ辭職シ二年ヲ經過セサル者
- 第七條 試験ノ上看守ニ採用スヘシト定タル者ハ典獄親ク左ノ諸件ヲ宣告シ警書ヲ徵シタル上採用スヘシ
- 一 看守タル者ハ一旦奉職ノ上ハ他念ナク職務ニ從事シ一身ノ故ヲ以テ辭職スルカ如キコト決シテアルマシキ事

○内務省訓令第十八號

警視廳 府縣 集治監
土木監督署 衛生試験所
臨時 横濱 築港局

明治二十二年^九當省訓令第三十六號物品出納規程第十條左ノ通改正ス

明治二十八年十一月五日

内務大臣子爵野村 靖

第十條 消耗品ノ内共用ニ屬スル薪炭油ノ如キ日々支消スル物品ハ實際使用ノ情況ニ依リ適宜概算高ヲ以テ假渡ヲ爲スコトヲ得

○内務省訓令第十九號

臨濟宗妙心寺派

其派管長蘆匡道死亡ニ付東海庵住職釋薩水ニ事務取扱ヲ命シ宗制寺法ニ據リ宗務ヲ處理セシム

明治二十八年十一月十八日 内務大臣子爵野村 靖

○大藏省訓令第二十八號

金庫出納役

明治二十三年大藏省訓令第五百十號陸軍臨時召集旅費金庫支出取扱順序中左ノ通改正ス

大藏大臣子爵渡邊國武

明治二十八年十一月二十五日

第一條第一項中「五月」ヲ「三月」ニ同條第二項但書中「五月」ヲ「三月」ニ改ム

〔参照〕

大藏省訓令第五百十號陸軍臨時召集旅費金庫支出取扱順序(明治二十三年十二月十六日)抄録

- 第一條 中央金庫ハ大藏省ヨリ毎年五月十一月ノ兩度ニ送付スル處ノ陸軍臨時召集旅費概算表ヲ得タルトキハ左ノ手續ヲナスヘシ
- 一 中央金庫ニ於テハ陸軍臨時召集旅費支出概算金額書留簿(簿式)ヲ備ヘ大藏省ヨリ送付スル處ノ概算表ニ依リ各金庫毎ニ但五月ニ送付セシ概算表ハ第二次即十一月ニ送付スル概算表ノ到着スル迄ハ有效ノモノトシ第二次ノ概算表到着スレハ第一次ノ概算表及書留簿ヲ無効トス

○農商務省訓令第十五號
 明治二十八年農商務省令第十二號 臘虎臘腦獸獵免許規則第二條但書ニ該當スル出願免許ノ件ヲ委任ス

警視廳 北海道廳府縣東京府

明治二十八年十二月六日

農商務大臣子爵榎本武揚

○農商務省訓令第十六號

警視廳 北海道廳府縣

臘虎臘腦獸獵免許取扱手續左ノ通相定ム

農商務大臣子爵榎本武揚

明治二十八年十二月六日

臘虎臘腦獸獵免許取扱手續

- 第一條 臘虎臘腦獸獵免許規則第一條ニ據リ出願スル者アルトキハ免許規則第二條ニ記載シタル各項ヲ調査シ意見ヲ添ヘ本大臣ニ差出スヘシ
- 第二條 臘虎臘腦獸獵免許規則第二條但書ニ該當スル出願アルトキハ願書記載ノ事項ヲ調査シ不都合ナキモノハ免許證ヲ下付スヘシ
- 第三條 本手續第二條ノ免許證ハ使用高ヲ概算シ毎年三月本大臣ニ請求スヘシ
- 第四條 本手續第二條ノ免許證ニハ獵業者ノ本籍身分住所氏名船種及獵船ノ定繫場ヲ記入シ應印ヲ以テ契印ヲ爲スヘシ
- 第五條 臘虎臘腦獸獵免許規則第八條ニ據リ免許證ノ下渡訂正ヲ出願シタルトキハ同則第一條ニ依レルモノハ農商務省ニ差出シ本手續第二條ニ依レルモノハ調査ノ上亡失毀損ハ再渡シ異動ハ朱書ヲ以テ訂正シ備考欄内ニ其事由ヲ記シテ下付スヘシ
- 第六條 臘虎臘腦獸獵免許規則第九條ニ據リ返納スヘキ免許證ニシテ同則第一條ニ依レルモノハ其都度農商務省ヘ送付シ本手續第二條ニ依レルモノハ直ニ斷截スヘシ
- 第七條 免許證原簿ヲ備置キ本手續第二條ノ免許證下付ノ際臘虎臘腦獸獵免許規則第二條但書ノ

事由ヲ登録シ廢業又ハ免許ノ效ヲ失ヒタルモノハ其事故ヲ記スヘシ
 第八條 本手續第二條ノ免許證ヲ下付シタルモノ又ハ免許證再渡訂正ヲ許可シタルモノハ翌年二月十五日マテニ左ノ表式ニ據リ本大臣ヘ報告スヘシ

第一號表式

臘虎臘肭獸獵免許者報告(明治 年)		廳府縣名	
免許證番號	種類	許可ノ月日	獵期及獵場
第一號(臘肭獸)	臘肭獸	(北極海何々海峽)	(何處何々海峽)
第二號(臘肭獸)	臘肭獸		
第三號(臘肭獸)	臘肭獸		
第四號(臘肭獸)	臘肭獸		
第五號(臘肭獸)	臘肭獸		

第二號表式

臘虎臘肭獸獵免許者異動報告(明治 年)		廳府縣名	
免許證番號	種類	月日	事由
第一號(臘肭獸)	臘肭獸	何月何日再渡	何月何日何所ニ於テ(亡失)何ニテ毀損ニ據ル
第二號(臘肭獸)	臘肭獸	何月何日訂正	出ニ據ル(轉居)(定獵場)(改名)願
第三號(臘肭獸)	臘肭獸		
第四號(臘肭獸)	臘肭獸	何月何日廢業	
第五號(臘肭獸)	臘肭獸	何月何日返納	何年何月ヨリ何年何月マテニ當年以上檢印ヲ受ケザルモノ

第九條 臘虎臘肭獸獵免許規則第四條第一項ニ據リ届出又ハ檢印シタル獵船ノ數ハ同則第一條ニ依レルモノハ其都度第二條但書ニ依レルモノハ毎年二月取纏メ本大臣ニ報告スヘシ

○大藏省訓令第二十九號

二十八年度當省所管歲出臨時部ノ内二十八年中新ニ下賜セラレタル勳章年金整理科目左ノ通設置ス但二十八年當省訓令第十五號ハ廢止ス

明治二十八年十二月七日

大藏大臣子爵渡邊國武

款	項	目
明治二十七年	明治二十七年	
勳章年金	勳章年金	旭日勳章年金
		金鷄勳章年金

〔參照〕

明治二十八年四月十大藏省訓令第十五號ハ二十八年大藏省所管歲出經常部恩賞諸課ノ款賞勳年金ノ項中目更正ノ件ナリ

○陸軍省訓令甲第七號

陸軍召集旅費支出規程第一條ノ臨時召集旅費概算表調査方明治二十九年ニ限り左ノ諸項ニ依リ取扱ハレムヘシ

明治二十八年十二月十四日

陸軍大臣侯爵大山 巖

一 後備將校同相當官及下士兵卒若干ハ本籍所在師團又ハ屯田兵ノ充員ニ召集スルモノトシ旅費ヲ

- 計算シ其ノ區畫ニ合記ス
- 一 第一第二第三第四師管ニ限リ近衛師團ニ屬スル豫備後備下士兵卒若干ハ近衛師團ノ充員ニ其ノ殘餘及第五第六師管ニ在テハ本籍所在ノ師團ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ其ノ區畫ニ合記ス
 - 一 第一第三第四師管在籍ノ豫備後備輜重輸卒若干ヲ近衛師團ノ充員ニ第二師管在籍ノ豫備後備輜重輸卒若干ヲ屯田兵ノ充員ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ各其ノ區畫ニ合記ス
 - 一 對馬警備隊區在籍ノ後備將校同相當官及下士兵卒ハ警備隊ノ充員ニ召集スルモノトシ其ノ區畫ニ合記ス
 - 一 北海道在籍ノ豫備後備將校同相當官及下士兵卒ニシテ屯田兵條例ノ規定ニ依ラサル者竝ニ屯田後備下士兵卒ハ屯田兵ノ充員ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ其ノ區畫ニ合記ス
 - 一 豫備將校同相當官及下士兵卒若干ハ後備軍召集ニ召集スルモノトシ旅費ヲ計算シ其ノ區畫ニ合記ス
 - 一 召集中ノ豫備後備將校同相當官及下士兵卒及服役延期中ノ現役兵ハ歸郷シアルモノトシ調査ス
 - 一 特別ノ命令ニ依リ行フヘキ充員召集ニ召集スル者ノ旅費ハ別ニ概算表ヲ調製ス
 - 一 但當該師團ニ屬スルモノト近衛師團ニ屬スルモノトヲ區分ス
 - 一 旅費ハ召集ノ種類及一郡市東京郡大阪ノ三市及北海道東京郡大阪ノ三市毎ニ現員十分ノ二ニ當ル金額ヲ加算スヘシ但其ノ金額ハ現員中最遠隔ノ者ニ均シキ額ヲ以テ調査ス
 - 一 船舶料等實費ヲ支給スルモノニシテ季節ニ依リ金額ニ高低アルモノハ其ノ最高價ヲ以テ計算ス
 - 一 概算表調査ニ要スル人員及召集地若クハ集合地等ハ該表調査ニ差支ナキ豫備大隊區司令部又ハ警備隊區司令部ヨリ島廳又ハ郡市區役所ヘ通報ス

○農商務省訓令第十七號
 本年當省訓令第五號森林經費科目表中經常部林區署ノ款雜給及雜費ノ項給與ノ次位ニ雇員給ノ目ヲ加フ

大林区署
 農商務大臣子爵榎本武揚

明治二十八年十二月十四日

法令全書

達

○陸達第一號

明治二十七年八月陸達第九十一號第六中工卒ノ下ニ「及ヒ蹄鐵工卒ヨリ上等兵ニ進ミタル者」ノ十七字ヲ加ヘラル

明治二十八年一月七日

陸軍大臣伯爵西郷從道代理
陸軍次官兒玉源太郎

〔參照〕

陸達第九十一號(明治二十七年八月五日)抄録
臨時多ク士官下士ヲ要シ補充上成規ヲ履ミ雖キトキハ左ノ變例ニ依リ補充スルコトニ定メラル
六 獸醫學校學生タル蹄鐵工卒ヲ工下長ニ任ス

○海軍省達第一號(附) (事ノ軍機ニ關スルモノハ且ク閑如ス以下之ニ倣フ)

○海軍省達第二號(附)

○海軍省達第三號

和泉定員職別表ノ通定ム

明治二十八年一月十五日
(別表)

海軍大臣伯爵西郷從道

和泉定員職別表

官名	職名	人員	官名	人員	職名	人員
大佐	艦長	一	上等兵曹	二	一等水兵	二十四
少佐	副長	一	二等兵曹	十三	二等水兵	四十二
			三等兵曹	十三	三等水兵	百二十六
			四等兵曹	三	四等水兵	六十

明治二十八年一月 達 陸軍省陸達第一號 海軍省第三號

右一點ヲ以テニ當ツ

三部 臨時全國寶物取調局ニ於テ寶物參考簿ニ登録セシモノ

右一點ヲ以テニ當ツ

第九條 點數ノ計算法數箇ヲ合シテ一點ヲナスモノハ五箇未滿ハ一點トシ五箇以上二十箇未滿ハ二點トシ二十箇以上ハ渾テ二點トス

但五箇以上ヲ以テ一點ヲナスモノト雖其全部ヲ出サ、ルトキハ實際ノ箇數ニヨリテ之ヲ算出スヘシ

小像ヲ一齣ニ納メ又ハ一臺ニ附著セシモノ等ハ其齣若クハ臺ノ員數ニ依リテ之ヲ算スヘシ

第十條 分與金ノ割合ハ當期分ノ總額ヲ寄託品ノ總當數ニテ除シ當一ノ得ル所ヲ積算シテ之ヲ定ムルモノトス

但當一得ル所ノ金ニ厘未滿ノ端數アルトキハ厘位ニ止ム

第十一條 分與スヘキ通券料一月ヨリ四月マテノ分ハ六月ニ五月ヨリ八月マテノ分ハ十月ニ九月ヨリ十二月マテノ分ハ翌年二月中ニ交付スヘシ

但第四條ニ依リ補足スル金額ハ第三期(即九月以後ノ分)ニ於テ交付スヘシ

第十二條 分與金ノ計算ハ出品シタル月ヨリ之ヲ起算シ返付シタル月ハ之ヲ算入セス

祭典又ハ法會ノタメ一時物品ヲ取出シ二週日ニ及テ之ヲ返付セサルトキハ之ニ對スル一箇月分ノ分與金ヲ控除スヘシ

第十三條 前各條ノ取扱ハ博物館ヨリ需求シテ寄託セシメタルモノト社寺ノ願ニヨリ寄託シタルモノトノ別ニヨリテ異ナルコトナシ

第十四條 本規則ニ定ムル外寄託物出品ニ關スル手續ハ渾テ帝國^{京都}奈良^{奈良}博物館出品規則ニ依ル

○陸達第二號

大本營ニ隸屬スル陸海軍將校同相當官及高等文官人事取扱規則中左ノ通改正追加セララル

陸軍大臣伯爵西郷從道代理

陸軍次官兒玉源太郎

明治二十八年一月二十七日

第四 海軍高等武官進級條例第十四條第一項ノ下ニ「並海軍高等武官任用條例第十二條第一項ノ十八字ヲ加ヘ進級ヲ要スル」ヲ進級及任用ヲ要スルト改ム

第五 海軍高等武官進級條例第十四條第二項ノ下ニ「並海軍高等武官任用條例第十二條第二項ノ十八字ヲ加フ

〔參照〕

陸達第百十號大本營ニ隸屬スル陸海軍將校同相當官及高等文官人事取扱規則(明治二十七年九月七日)抄錄

第四 陸軍武官進級令第十五條第一項及海軍高等武官進級條例第十四條第一項ニ該當シ進級ヲ要スルモノハ功績證明書ヲ添ヘ上申スルモノトス

第五 陸軍武官進級令第十五條第二項及海軍高等武官進級條例第十四條第二項ノ補除ヲ必要トスル場合ニ在テハ軍事內局長之ヲ參謀總長陸軍大臣海軍大臣及各部副隊長艦長等ノ最高指揮官ニ傳達ス

但海軍將校同相當官ノ補除及同各候補生ノ任官ニ於ケル手續ハ第二ノ第三項及第四項ノ例ニ同シ

○陸達第三號

來ル二月一日ヲ以テ歸隊ノ士官學校第六期生徒ハ特別ヲ以テ該校教育課程卒業證書ヲ附與スルコトニ定メラル

陸軍大臣伯爵西郷從道代理

陸軍次官兒玉源太郎

明治二十八年一月三十日

○海軍省達第四號(關)

○海軍省達第五號

明治二十八年一月 達 陸軍省陸達第二號 陸達第三號 海軍省第五號

雇員備人規則第二條表中技工ノ欄本省ノ下ニ「造兵廠」ノ三字ヲ加フ

明治二十八年一月三十一日

海軍大臣伯露西鄉從道

○陸達第四號
今般勅令第十二號ヲ以テ各兵科豫備後備下士上等兵ヲ軍吏部下士ニ任官補充ノ件制定相成候ニ付
其任官手續左ノ通定ム

陸軍大臣伯露西鄉從道代理

陸軍次官兒玉源太郎

- 一 師團監督部長ハ軍吏部下士補充上必要ノ人員ヲ豫定シ之ヲ師團長ニ請求シ師團長ハ之ヲ各隊ニ達ス
- 二 師團各隊ニ於テハ召集中ノ豫備後備下士上等兵ニシテ軍吏部下士ノ職務ニ適當ノ者ヲ選ヒ該隊長ヨリ其人名書族籍トモヲ當該監督部長ニ移ス
- 三 監督部長ハ前項ノ人名書ヲ取纏メ適宜ノ方法ヲ以テ簡單ニ會計上ノ技能ヲ試ミ其成績ニ依リ順序ヲ定メ師團長ノ承認ヲ經テ必要ニ應シ之ヲ任ス
- 四 現在軍吏部下士ノ職務ニ服行スル各兵科豫備後備下士上等兵ニシテ適當ト認ムル者ハ當該監督部長平及師團ニ屬スル兵之ヲ任ス但大本營ニ屬スル各部各隊附ノ者ニシテ除任ヲ行フ監督部長ナキトキハ該部隊長ノ移牒ニ依リ野戰監督長官之ヲ任ス
- 五 前兩項ニ依リ任官ノ者ハ定規ニ依リ之ヲ報告族籍トモシ第四項ニ依リ任官ノ者ハ尙之ヲ本人原所屬師團長ニ報告又ハ通報スヘシ

○陸達第五號

戰時補助憲兵規則左ノ通定メラル

陸軍大臣伯露西鄉從道代理

陸軍次官兒玉源太郎

明治二十八年二月四日
戰時補助憲兵規則

第一條 戰時補助憲兵ハ憲兵隊ニ於テ臨時ニ之ヲ養成セシメ必要ニ應シ占領地其他ノ要地ニ派遣シ憲兵勤務ヲ補助セシムルモノトス

第二條 戰時補助憲兵附將校ハ現役豫備後備各兵科ヨリ下士ハ現役豫備後備ノ步兵科ヨリ上等兵ハ後備ノ步兵科ヨリ之ヲ採用ス

第三條 戰時補助憲兵將校、下士、上等兵ノ服裝ハ當該兵科ノ規程ニ依リ特別ノ徽章ヲ附ス但憲兵科ノ者ハ特別ノ徽章ヲ附スル限ニアラス

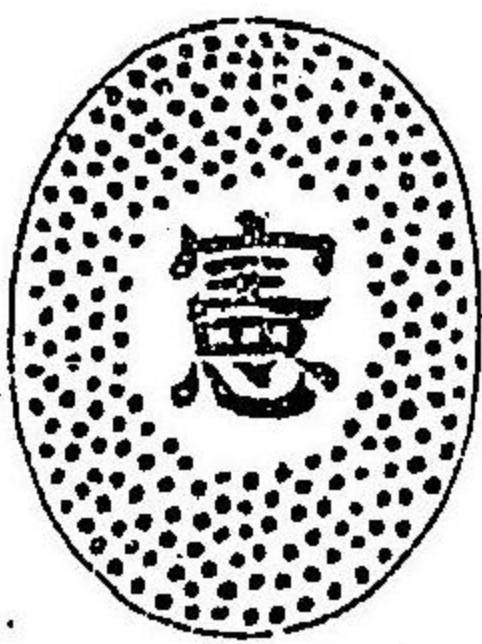
第四條 戰時補助憲兵將校以下ノ服役及諸給與ニ關シテハ當該兵科ニ於ケル規程ニ異ナルコトナシ

○陸軍第六號

戰時補助憲兵將校下士上等兵ニハ左ノ徽章ヲ上衣及外套ノ右胸部ニ附著セシム
但將校ハ金色下士ハ銀色上等兵ハ赤銅トス

明治二十八年二月四日

陸軍大臣伯爵西鄉從道代理
陸軍次官兒玉源太郎



楕圓形ニシテ中央ニ隸書ヲ以テ憲ノ字ヲ打出スコト如圖
直徑一吋五分横一吋二分

○海軍省達第六號

艦船造修試驗檢査規則第四十五條左ノ通改正ス

明治二十八年二月十六日

海軍大臣伯爵西鄉從道

第四十五條 艦船備付ノ船舟ヲ引換ノ爲メ新造スルトキハ造船及修理費中ノ艦船ノ修理費ヲ以テ支辨シ前諸條ノ外第二章中第二十八條乃至第三十條ヲ適用シ第三十一條及第三十二條ニ於ケル在來船舟ノ要目表及明細表中異動ノ項目ヲ艦船長及軍務經理兩局ニ報告スヘシ其船舟ノ種類若クハ寸法ヲ變更シ又ハ國隊校應附屬ノ船舟ヲ引換フルトキハ修理費ヲ以テ支辨スルトコトヲ得ス總テ第二章ノ手續ニ依ルヘシ

〔參照〕

海軍省達第六號艦船造修試驗檢査規則(明治二十七年二月二日)抄錄
第四十五條 艦船備付ノ船舟ヲ引換ノ爲メ新造スルトキハ前諸條ノ外第二章中第二十八條乃至第三十二條ヲ適用シ其製造費ハ造船及修理費中ノ軍艦及水雷艇修理費ヲ以テ支辨スヘシ其船舟ノ種類及寸法ヲ變更スルトキ及國隊校應附屬ノ船舟ニ在テハ修理費ヲ以テ引換新製スルトコトヲ得ス總テ第二章ノ手續ニ依ルヘシ

○海軍省達第七號

海軍少主計候補生實務練習規則左ノ通定ム

明治二十八年二月二十一日

海軍大臣伯爵西鄉從道

海軍少主計候補生實務練習規則

第一條 新ニ採用シタル海軍少主計候補生ハ一箇年以上左ノ順序ニ依リ其本官ノ實務ヲ練習セシム

一 海兵團

四箇月以上

二 鎮守府監督部及所屬部庫

四箇月以上

三、軍艦

四箇月以上

第二條 實務練習科目ノ概目左ノ如シ

一 海兵團ニ在テハ海軍組織海軍諸法則等ヲ研究セシメ且務メテ軍人ノ體容ヲ得セシムル爲メ傍ラ海軍敬禮式、海軍銃隊操式(第一部第一章マテ)拳銃操法、端艇棹走等ヲ習得セシム

一 鎮守府監督部及所屬部庫ニ在テハ金錢ノ出納給與、被服糧食ノ準備供給及艦營需品ノ準備供給ノ事ヲ練習セシム

一 軍艦ニ在テハ金錢物品ノ給與配給及其經理ヲ實地ニ孰キ練習セシム

第三條 鎮守府監督部長ハ部員又ハ司計部主管、衣糧庫主管、艦營需品庫主管、海兵團長ハ副長、主計長、艦長ハ主計長ヲシテ實務練習ノ指導者ヲラシメ各練習ノ成績ヲ徵シ海軍高等武官候補生規則第十二條ニ準據シ自己ノ意見ヲ附シ海軍大臣ニ報告スヘシ

○陸達第七號

明治二十四年陸達第百一十一號近衛各師團司令部其他玄關番以下定員表中「屯田兵」ノ次ニ「第七師管各大隊區司令部」ノ一行ヲ設ケ小使及計ノ區畫ニ各二ヲ加フ

陸軍大臣伯喬西鄉從道代理

陸軍次官兒玉源太郎

明治二十八年二月二十三日

○陸達第八號

戰時ノ必要ニ依リ使用セル陸軍省雇員以下給料ハ左ノ各項ニ依リ増加スルコトヲ得但陸軍省雇員ハ順序ヲ經テ陸軍大臣へ稟申又ハ移牒スルモノトス

一 陸軍省雇員ハ勤績六箇月以上ニシテ勤務勉勵品行方正ノ者ハ其給料ヲ増加スルコトヲ得但一回月額五圓ヲ最上限トス

二 戰時給與規則第三十條ニ依リ使用スル雇員モ亦前項ニ同シ但同條ニ於テ給額ニ制限アル者ハ其制限ヲ超テ増給スルコトヲ得ス

三 備員以下給料支給規則備給表ニ掲クルモノ勤績六箇月以上ニシテ勤務勉勵品行方正ノ者ハ其等級ヲ進ムルコトヲ得

四 前項ニ依リ昇級セシムヘキ人員ハ一部隊毎ニ全員ヲ各級ニ平分シ殘員ハ下級ヨリ順次上級ニ平分シタル數ヲ限リトス但一部隊ノ人員給料等數ニ滿タサルモノハ此限ニアラス

陸軍大臣伯喬西鄉從道代理

陸軍次官兒玉源太郎

明治二十八年二月二十三日

○陸達第九號

野戰郵便夫規則別冊ノ通定ム

陸軍大臣伯喬西鄉從道代理

陸軍次官兒玉源太郎

明治二十八年二月二十三日

(別冊)

野戰郵便夫規則

第一章 資格

第一條 野戰郵便夫ニ採用スヘキモノハ左ノ各項ニ合格スルモノニ限ル但第六項ニ適合セサルモノト雖モ時宜ニ依リ採用スルコトアルヘシ

一 常備兵役及後備兵役ニ關係ナキモノ

二 輕禁錮以上ノ刑ニ處セラレシコトナキモノ

三 故意ヲ以テ郵便電信ニ關スル罪ヲ犯シ其刑ニ處セラレシコトナキモノ

四 賭博犯ニ付懲罰ノ處分ヲ受ケシコトナキモノ

五 豫戒命令執行中ニアラサルモノ

六 普通郵便局ニ於テ現ニ郵便物ノ集配若クハ遞送ニ從事シ又ハ一年以上從事シタルコトアルモノニシテ當該郵便局長ノ證明書ヲ有スルモノ

七 年齡二十歲以上四十歲以下ノ男子ニシテ身元正シク性質實直ナルモノ

八 身體強壯ニシテ疾走ニ堪ル旨醫師ノ證明書ヲ有スルモノ

九 平易ノ文章ヲ讀ミ得ルモノ

第二章 給與

第二條 野戰郵便脚夫給料ハ日給金壹圓以內ヲ以テ野戰高等郵便長之ヲ定メ採用ノ日ヨリ解備ノ日迄之ヲ給ス但左ノ事項ニ該當スルモノハ此限ニアラス

一 公務ニ起因スルニアラスシテ疾病ニ罹リ職ニ就カサル日ハ半額ヲ給ス

二 懲罰ニ處セラレタルトキハ處罰中半額ヲ減ス

三 拘留以上ノ處罰中及自己不攝生又ハ過失怠慢ニ起因シ職ニ就カサル日ハ之ヲ給セス

第三條 糧食及宿舍ハ兵卒ニ準シ官給トス但旅費ヲ給スルトキハ此限ニアラス

第四條 旅費ハ總テ實費拂トス但赴任等ノ爲メ内地單獨旅行ヲ命スルトキハ兵卒ニ準シ陸軍給與令ニ依リ旅費ヲ給ス

第五條 野戰郵便脚夫ニハ附錄第一號ノ物品ヲ支給ス

第六條 不得止理由ニ依リ支給品ヲ亡失シ又ハ汚損ノ爲メ其用ニ堪ヘサルニ至ルトキハ検査ノ上代品ヲ支給ス

第三章 服務

第七條 野戰郵便脚夫ハ採用ノ上ハ陸軍ニ從事シ決シテ他志ナキノ誓約ヲ爲サシメ軍屬ニ列セシム

第四章 解備

第八條 野戰郵便脚夫ハ軍郵便部長ニ隸屬シ野戰郵便局野戰郵便繼立所又ハ野戰郵便線路ニアル普通郵便局ニ於テ郵便物ノ遞送及集配ニ從事シ其他上官ノ命令ハ總テ之ニ服行スヘキモノトス但普通郵便局ニ於テハ野戰郵便事務ニ關スル事項ノミ普通郵便局長ノ命令ヲ受クルモノトス

第九條 野戰郵便脚夫ハ其職務ニ關スル事項ハ故ナク他人ニ漏告スヘカラス

第十條 野戰郵便脚夫集配中又ハ遞送中ハ常ニ疾走シテ郵便物ノ速達ヲ期スヘキハ勿論ナリト雖

モ亦之ヲ最モ安全ニ保護スルコトヲ勉ムヘシ故ニ決シテ危險地ニ入ルヘカラス且如何ナル場合ト雖モ之ヲ敵手ニ委スヘカラス若シ敵ノ奪掠ヲ免レスト認ル場合アルトキハ燒棄或ハ水中ニ沈没セシムル等臨機ノ處置ヲナスヘシ

第十一條 野戰郵便脚夫此規則及其他ノ命令ニ背クトキハ相當ノ懲罰ニ附スヘシ

第十二條 野戰郵便脚夫ハ自己ノ便宜ニ依リ解備ヲ願出ルコトヲ許サス

第十三條 野戰郵便脚夫ハ負傷疾病ニ因ルニアラスシテ其用ニ堪ヘ難キト認メタルトキ又ハ必要ナキニ至リタルトキ又ハ刑罰ニ處セラレタルトキ又ハ懲罰ニ因ルノ外解備セラルハコトナシ

第十四條 海外ニ在ル野戰郵便脚夫ハ内地ニ送還ノ後召集地ニ於テ解備スルモノトス

第十五條 解備ノ者ハ支給物品中外套頭巾肩掛護身用品防寒用品ヲ還納セシメ其他ノ物品ハ之ヲ本人ニ付與スヘシ但付與ノ物品ニシテ徽章アルモノハ之ヲ除去スルモノトス

第五章 附則

第十六條 大本營直轄ノ兵站線ニ於テハ此規則ニ於ケル軍郵便部長ノ職務權限ハ上級郵便監査之ヲ有スルモノトス

第十七條 本則第三章ハ郵便物遞送集配ノ爲メ兵站部ヨリ供給スル輸卒軍夫等ニモ亦之ヲ適用ス

第十八條 本則發布ノ當時常職トシテ野戰郵便脚夫ノ職務ニ從事スル軍夫ハ野戰郵便脚夫ニ採用スルコトヲ得但其解備ハ軍夫召集地ニ於テ之ヲ爲スモノトス

附錄第一號 野戰郵便脚夫給與物品表

品目	品名	實數	備	考
制服	制服圖例(附錄第二號)ニ依ル			

